東京科学大学 理工学系学生のための
留学のてびき
2025

問い合わせ先

国際教育課 | 大岡山キャンパス
Hisao & Hiroko Taki Plaza B1F

E-MAIL
studyabroad@adm.isct.ac.jp

ウェブサイト
https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad

Science Tokyo 海外留学 検索

本てびきの内容は、編集時点の情報です。
変更される場合がありますので、
最新の情報はウェブサイト等でご確認ください。

Beyond Borders
Beyond Limits

Institute of
SCIENCE TOKYO

Science Tokyo から世界へ

「その一歩が、未来への自信！」

毎年約700名の本学学生が海外留学プログラムに参加しています!

p.03 学生メッセージ

p.09 留学の準備

p.13 留学プログラムの選択

p.17 短期～中期プログラム

p.28 長期プログラム

p.41 留学奨学金情報

CONTENTS

学生メッセージ p.03

○グローバル海外研修
○TASTE海外短期語学学習
○協定校シーズンプログラム
○派遣交換留学
○東京科学大学・清華大学
大学院合同プログラム

留学の準備 p.09

留学情報の収集
留学の目的
語学力
学業成績
留学資金の確保
オンラインプログラムで疑似留学

留学プログラムの選択 p.13

行き先で選ぶ
期間・学年で選ぶ

短期～中期プログラム p.17

短期海外研修
語学
シーズンプログラム
交流
専門
研究

長期プログラム p.28

ダブルディグリー
インターンシップ
コラム：留学と就職活動について
派遣交換留学

留学奨学金情報 p.41

本学に在籍しながら留学する学生向けの奨学金
学位留学する学生を支援する奨学金

※本冊子においては、一部の国・地域について、一般に使われている呼称を習慣に従い使用しています。

グローバル
海外研修
・・・
インペリアルカレッジロンドン、
ロンドン大学クイーンメアリー校
ヨーク大学 等
イギリス

留学経験で得た自信や刺激が新たな研究への挑戦に繋がった

物質理工学院 材料系　伊藤 裕那さん
留学時学年　学士課程3年 3月（2週間）

Hirona Ito

留学の第一歩を踏み出す

中学・高校時代に異文化に触れた経験から、大学入学時には長期留学を目指していました。しかし、海外経験の少なさや英語力の不足、異文化理解への不安が壁となり、なかなか踏み出せませんでした。そんな中で見つけたのが、引率付きのグローバル海外研修です。このプログラムは留学初心者にとって挑戦しやすく、英語力の向上や異文化理解を深める絶好の機会だと感じました。イギリスを選んだ理由は、世界的に有名な大学や研究機関の訪問が含まれていた点です。また、美術館や博物館の見学、音楽やサッカーなどのカルチャーを肌で感じる体験ができる点にも魅力を感じ、参加を決めました。

現地で学んだ研究活動の違いとプレゼンスキル

イギリスでは研究所や大学を訪問し、実際に行われている研究を見学しました。また、現地の研究者や学生と交流する機会を得て、ディスカッションを通じて日本とイギリスの研究活動の違いを学びました。現地の方の学びに対する熱意や、研究＝仕事として捉えている側面が印象に残っています。ヨーク大学では実際に授業を受け、専門知識を他者に分かりやすく伝えるプレゼンテーション方法を学びました。英語での講義や議論に苦労しましたが、現地の方の温かいホスピタリティにも助けられ、日本語での発表にも活用できる貴重なプレゼンスキルが身につきました。

異文化理解と成長を支えたヨーク滞在

ヨーク滞在中、ヨーク大学でメンターのサポートを受けたことが英語力向上に大いに役立ちました。文化や現地の考え方を共有してもらい、異文化理解が深まりました。拙い英語でも真剣に聞いてくださり、心置きなく話すことができ、自分の英語に自信が持てるきっかけとなりました。また、現地大学の正規学生である日本人との交流では、正規入学までの道のりやバイリンガル話者の言語観について知ることができ、貴重な体験を得ました。休みの日には念願のプレミアリーグの試合を観戦。小さなスタジアムで世界的にも有名なサッカー選手を間近に見られて、大興奮のひとときでした。

次のステップへ繋げる

グローバル海外研修を通じて、インペリアルカレッジロンドン（ICL）の研究活動に強く惹かれました。Ph.D.の学生たちによる高いレベルの研究に感動し、自分もその一端を体験したいと考え、2025年度のInternational Research Opportunity Program（IROP）への応募を決意しました。2ヵ月間という期間は、自分の研究と両立できる点でも理想的です。この決断は、グローバル海外研修での経験が大きなきっかけでした。

STORY

異文化と多様性を実感したイギリス滞在

世界でも有数の多民族国家であるイギリスならではの違いを否定せずに受け入れる多様性に対する理解には驚かされ、自分も多文化理解を深めたいと思いました。多くのトイレが「All Gender」と表記され、誰もが使いやすい設計に配慮されている点は印象的でした。現地の料理は、値段と味に強い相関がありました。安価な食事は噂通りでしたが、適正な価格を支払えば美味しい料理が楽しめ、食事には困りませんでした。多民族国家ですので、日本人でも観光客特有の悪目立ちもせず、トラブルに巻き込まれることはありませんでしたが、友人がスリに遭いそうになり、セキュリティ対策は日本以上に意識すべきだと考えさせられました。

Advice

迷っているならまずは2週間のグローバル海外研修

Science Tokyoの学生の中には、「英語力が・・・」「海外に興味が・・・」といった理由で留学に対して消極的な方もいるかもしれません。そんな方にこそ、グローバル海外研修をおすすめしたいです！このプログラムは他の留学よりも参加のハードルが低く、2週間という短期間ながら確実な成果を得られます。実際に参加したことで、英語力が飛躍的に伸びたと感じました。また、この経験が自信となり、より長期の留学に挑戦する意欲が湧きました。まずはScience Tokyoの留学案内ページをチェック!!

プレミアリーグ観戦
（ホームの勝利!!）

メンターとの一枚

ノッティングヒルで飲んだ
カプチーノ

グローバル海外研修の詳細はp.17へ

TASTE
海外短期語学学習
・・・
ワシントン大学
アメリカ合衆国

不安もあったけど、飛び込んでみたら何とかなりました。

物質理工学院　寺澤 優羽さん
留学時学年　学士課程1年 8～9月

Yu Terazawa

大学生活で叶えた留学の夢

留学には以前から興味を持ちながらも、コロナ禍や受験勉強の影響で実現できず、大学入学後すぐに留学したいと思っていました。入学後、大学内で留学フェアなどに参加して情報を集め、夏休みを利用して海外大学のプログラムに参加でき、留学先の選択肢の多いTASTEを選びました。留学先を選ぶにあたっては、治安の良さと英語でネイティブの方とコミュニケーションをとる機会が多いことを重視していたので、アメリカでも比較的治安が良いシアトルに位置するワシントン大学を選びました。

語学学習を超えた現地での体験

現地での語学学習は、シアトルを舞台にした映画「Sleepless in Seattle」を活用した授業と配布資料を中心に進められました。映画からスラングやリアルな英語を学ぶスタイルでの学習は新鮮で、英語で質問することに慣れるまでは戸惑いもありましたが、大きな成長の機会となりました。授業ではペアでのディスカッションやお互いへのインタビュー、学外活動の事前準備を行いました。また、授業の一環として先生の案内で映画のロケ地やシアトルの名所を訪れたり、語学学習だけでなく異文化の深い理解につながる体験が得られました。最終授業では、アクティビティで乗船したフェリーでおこなった一般の方へのインタビュー内容を、グループでプレゼンテーションしました。見知らぬ人に英語で話しかけるのは不安もあり、かなり勇気がいることでした。英語を聞き取ってもらえなかった時は、ジェスチャーや具体例を言ってみたり、試行錯誤の連続でしたが、インタビューに応えてくださった方々がフレンドリーなおかげで、自信を持って取り組めました。この経験を通じて、英語での実践的なコミュニケーションスキルを伸ばせたと感じています。

観光も異文化交流をしながら

午後の授業後は自由時間があり、週に2回、ワシントン大学の国際交流団体FIUTSのメンバーが観光地を案内してくれました。シアトルでの移動手段に不慣れななか、観光スポットまで案内してもらえるのは、とてもありがたかったです。この時間は、現地の人と交流する貴重な機会となりました。FIUTSのメンバーの人数に対して日本人学生が多かったため、貴重なチャンスを逃さないように積極的にFIUTSメンバーに話しかけました。初回のアクティビティでは、パイクプレイスマーケットを訪れました。マーケット内の主要な観光スポットを案内してもらい、道中もいろいろな会話を楽しむことができました。マーケット内には海産物や花などのお店が並び、とても活気に満ちた雰囲気の場所でした。日本よりも店員さんとお客さんのコミュニケーションが活発で、試食させてもらえるお店もたくさんありました。気になったことは積極的に質問して、充実した時間を過ごすことができました。

STORY

語学以外の留学の意義

大学寮に滞在していたため、週末は自由な時間が多くありました。その時間を活かし、アクティビティで知り合ったFIUTSメンバーに連絡して、ダウンタウンを案内してもらいました。有名な観光地に加え、現地の人だからこそ知っている隠れたスポットも訪れることができ、特別な体験となりました。特に印象に残っているのは、アーケードゲームのお店です。見覚えのあるゲームが多い一方、VRを使った新しいゲームは新鮮でとても面白かったです。そのほかにも、美術館やグーグルの植物園「スフィア」などを訪れ、充実した週末を過ごしました。週末を一緒に過ごしたFIUTSメンバーとは、帰国後も連絡を取り合うほど仲良くなることができました。このつながりは私の大きな財産となっています。

Advice

興味があるなら今すぐ行動を

海外に行くのはハードルが高いと私も感じていましたし、不安なことも多いかもしれませんが、結構何とかなります。私は留学を通じて、「海外でも仕事ができるようになりたい」という夢が現実的な目標に変わりました。次は半年から1年ほどの研究留学を目指しています。英語が上達するのを待つより、まずは飛び込むことで、学習のモチベーションも大きく向上します。大学には、留学を希望する学生を支援する窓口や団体があるため、心配事や疑問点があれば気軽に相談してみると良いと思います。留学を考えているなら、早めに行動をすることをおすすめします。

ワシントン大学の付属図書館

パイクプレイスマーケットの看板

プログラム修了式でのクラスメイト、先生との集合写真

TASTE海外短期語学学習の詳細はp.18へ

01 グローバル海外研修

南洋理工大学、
シンガポール工科・デザイン大学、
シンガポール経営学校
シンガポール

マラヤ大学、イスラム国際大学
マレーシア

02 協定校シーズンプログラム

ベルリン工科大学
ドイツ

留学を通じて見つけた自分、挑戦と成長で感じた留学の価値

工学院 情報通信系　鹿田 塁さん
留学時学年　グローバル海外研修：学士課程2年 3月(2週間)
協定校シーズンプログラム：学士課程3年 7～8月

Rui Shikada

2度目の留学で更なる成長への挑戦

以前にグローバル海外研修に参加した際、英語力の不足や海外学生の優秀さに触れ、自分の未熟さを痛感しました。将来海外で働くことも視野に入れている自分にとっては大きな課題だと考え、再度留学を決意をしました。今回の留学では、語学力の向上、海外経験の習得、専門分野を英語で学ぶ機会を得ることを目標に参加しました。3年生は必修授業が少なく留学がしやすいこと、自身が行ってみたかった国であること、そして1ヵ月のプログラムで情報工学を学べるクラスのあることから、ベルリン工科大学を選びました。

全力で挑む仲間との出会いから得た気づき

最も印象的だったのは、ディスカッション後の発表です。クラスメートたちのプレゼンに対する情熱は凄まじく、スライドの完成度は高く、まるでTEDのプレゼンターのように引き込まれる話し方でした。彼らは日頃からいかにプレゼンがうまくできるかを考えており、その熱量に自分も大きく刺激を受けました。さらに、ゲームのデザインやストーリーラインの議論でも、時間の限りを尽くして、プレイヤーが没入できるよう本気で試行錯誤していました。彼らとの出会いを通じて、物事に全力で取り組む楽しさに気づき、自分も大きなことを成し遂げたいという強い想いを得ることができました。

寮のキッチンで未来を語る仲間たち

寮のキッチンで友人たちと食事をしながら、クラスで何を学んでいるかなどをトピックに雑談し、英語での会話を通じてお互いを理解し合い、大いに笑い合った思い出があります。特に印象的だったのは、数人が起業を考えていると話していたことです。一人は子ども向けに金融知識を学べるゲームを、もう一人はファッション情報を簡単に集められるサイトを開発しようとしていました。同年代で大きな視点を持って語る彼らに圧倒され、その姿に大いに刺激を受けました。今でも大学内で告知されている起業セミナーを見るたびに、この日のことを思い出します。

挑戦することへの情熱

今回の留学を通して、英語力とコミュニケーション力の向上、専門分野を海外で学ぶ経験はもちろんできましたが、さらに留学先で出会ったクラスメートや寮の友人たちの影響で、自分自身も大きな目標に挑戦しようという情熱が湧きました。彼らはポジティブであるだけでなく、彼らが持つ目標が叶うと強く信じていました。仮に一度失敗しても落ち込むほどのことではないし、また挑戦すれば良いという考えに触れ、自分自身の考え方も変わりました。将来の理想の就職先は、留学前から持っていて、それは留学後も変わりませんが、もし日常に充足感がないと感じたときや自分ならもっと大きなことができると思う場合には、「起業も選択肢の一つかもしれない」という考えが芽生えました。

STORY

戸惑うことも楽しめる

留学中に初めて寮に入った時、寮に到着した際、なぜか入れるはずの門は閉まっており、サマースクール生向けの案内も見当たらず、唯一の手段はインターホンだけ。困っていたところ、たまたま近くを通りかかった老夫婦に助けていただき、何とか入ることができましたが、正直戸惑いました。授業では、1日目と2日目は教授の話がほとんど聞き取れず、講義の流れもつかめなかったうえに、教授から自分の意見を発表するように求められたときは本当に焦りました。仲良くなっていたクラスメートに助けてもらい、なんとかその場を乗り越えることができましたが、こうした戸惑いも留学生活にはつきものです。そういったことも含めて経験として楽しめるようになり、成長できたと感じています。

Advice

留学の価値を最大化するために大切な姿勢

留学で得られた多くの価値は、留学そのものよりも、自分自身が積極的に周囲に働きかけた結果だと感じています。留学に限った話ではありませんが、せっかくの機会を無駄にしないためには、自分の姿勢が何よりも重要だと思います。留学を検討中の学生の方や、これから留学をする方には、留学前にしっかりと目標を定め、具体的なアプローチを考え、現地でその計画を実践することで、より充実した留学経験が得られるはずです。留学への一歩を踏み出し、全力で挑むことで見える世界を楽しんでください。

授業風景

ベルリンの街をお出かけ中の写真 with 寮の友達

ディナーパーティー（焼きそば+シチュー）with クラスメート

協定校シーズンプログラムの詳細はp.19へ

派遣交換留学

スイス連邦工科大学
ローザンヌ校（EPFL）
スイス

自主性を育み、未来への可能性を広げた異文化での学びと経験

物質理工学院 応用化学系　香月 慧美さん
留学時学年　学士課程4年 8月～翌年2月

Satomi Katsuki

ヨーロッパへの憧れと挑戦への決意

もともとヨーロッパに対する漠然とした憧れを持っており、学生生活の貴重な時間を活用して長期留学に挑戦しようと決意しました。学部生として、学術的な講義を履修することを目的に派遣交換留学を選びました。留学先としてスイスを選んだ理由は、治安の良さや自然豊かな落ち着いた環境の中で集中して学びたいという希望からです。また、スイスにはドイツ語圏、フランス語圏、イタリア語圏がありますが、第二外国語としてフランス語を学んでいたため、フランス語圏にあるスイス連邦工科大学ローザンヌ校（EPFL）を留学先に決めました。

海外ならではの講義スタイル

留学先では、4つの講義を履修しました。学部生としての留学でしたが、Bachelorの講義の多くはフランス語で行われていたため、その中でも英語開催の2つの講義と、Masterレベルの講義を2つ選択しました。EPFLでは、講義（Lecture）と演習（Exercise）の時間が分けられており、毎回の講義で出された課題について、演習の時間にTeaching Assistant（TA）へ質問することができました。課題量は多く、追いつけないこともありましたが、コツコツ取り組んだことで、試験前の復習が非常に効率的になりました。また、特に海外の大学らしく印象的だったのは、グループワークが多かったことです。講義では単に教えてもらうのではなく、自分の意見を持つことや積極的に参加することが求められました。例えば、ペアでレポート作成と最終プレゼンをおこなう課題や、グループでポスターを作成する課題では、自分の働きがグループ全員の成績に影響するため、大きな責任感を感じました。交換留学生として成績をそれほど重要視していませんでしたが、現地の学生たちは成績を非常に気にしており、足を引っ張らないように全力で取り組みました。その結果、充実して貴重な学びの経験を得ることができ、以前よりも自分の意見を自信を持って伝えることができるようになったと思います。

次は研究留学に挑戦

今回の留学を通じて、海外の学生の研究活動にも興味を持ちました。特に、積極的な姿勢が研究活動にどのように活かされているのかを実際に体験してみたいと考えています。今回の留学では授業履修が中心でしたが、次年度は学内の他のプログラム（SERP）を活用し、研究留学に挑戦したいと考えています。現在は修士1年生として就職活動中ですが、企業の方から留学について「自分で立候補したの?」と尋ねられることがあります。留学に挑戦したことや、留学先での活動などをお伝えするようにしていますが、私の「自主性」を評価していただいていると感じています。研究留学で更に自主性を磨き、就職活動にも活かしていこうと思います

STORY

学業以外の学び

留学中は学業だけでなく、イベントや旅行など多くの体験をアクティブにおこないました。特に印象深いのは、学内団体主催の交換留学生向けハイキングイベントです。スイスの人気スポット、世界遺産エッシネン湖へのハイキングは、険しい道のりで途中無言になりながらも、ゴールでは美しい景色を目にして忘れられない思い出となりました。イベントで知り合ったアメリカ人女性とは特に仲良くなり、カフェで週に一度お茶をしながら日本文化について話をしたり、異文化交流の醍醐味を味わいました。留学中は寮に滞在しましたが、様々な国籍のルームメートとラクレットや生ハム、クレープ、巻き寿司など母国の料理を持ち寄って一緒に食事をしたのも貴重な経験になりました。

Advice

挑戦してこそ得られる学生時代の特別な経験

留学には不安を感じることもあるかもしれませんが、飛び込んでみれば意外となんとかなります。自分で履修を組んで実際の学生生活を満喫できたり、学業以外の経験がたくさんできたのも、長期留学に挑戦したからこそ経験できたのだと思います。自分自身への自信も以前よりも持つことができました。学生時代は貴重な挑戦のチャンスがあります。留学を通じて視野を広げたり経験を得ることは、きっと人生の大きな糧となるはずです。ぜひ一歩踏み出してみてください。

キッチンをシェアしていたみんなとのディナー

ハイキング後のチーズフォンデュ

マッターホルンを眺めながらのスキー

派遣交換留学の詳細はp.31へ

01 グローバル海外研修
・・・
アール・ゼ・メティエ、ソルボンヌ大学
フランス

02 派遣交換留学
・・・
スイス連邦工科大学チューリッヒ校（ETH）
スイス

長期留学で得た経験と刺激から生まれた将来の目標

工学院 機械系　古川 昭至さん
留学時学年　グローバル海外研修：学士課程1年 9月
派遣交換留学：修士課程1年 9月 ～ 翌年8月

Akinori Furukawa

短期留学を経て、念願のスイス留学へ

本学では、世界各国の優れた大学と交換留学の提携を結んでおり、この貴重な機会を活用したいと考えて、大学入学直後の夏にグローバル海外研修で一週間半程度フランスへ行きました。この経験を通じて、より長期の留学に挑戦したいと考え、今回修士課程で再挑戦することを決めました。スイスには幼少期に住んだ経験があり、大人になった今、思い出の地であるスイスで学びたいという思いから、スイス連邦工科大学チューリッヒ校を留学先に選びました。学士課程の際にはコロナ禍の影響で海外留学が叶いませんでしたが、英語の授業を多く履修し、英語力向上に努めていたため、今回の留学で念願の夢が叶いました。

留学で広がった学び、将来の目標

現地での英語のコミュニケーションに不安はありませんでしたが、授業で使われる専門的なアカデミック英語の理解に最初は苦労しました。ETHでは教授と一対一で行う口述試験があり、非常に緊張したのを今でも覚えています。特に印象深かったのは、航空インフラに関する授業です。チューリヒ空港を訪れ、貨物仕分け作業やスイス航空のオフィスを見学する中で、スイスならではのチョコレート貨物を目にする機会もありました。短期留学とは異なり、長期留学では現地生活により深く溶け込み、多くの出会いがあり、刺激を受けました。また、留学中に第三国の視点から日本を見つめ直したことで、これまで気がつかなかった日本の良さを実感しました。特に日本の技術は世界に通ずることを実感しました。この経験から、日本の魅力を世界に発信し、世界と日本をつなぐ仕事に携わりたいという新たな目標が生まれ、将来に対する野心が強くなりました。

人生を豊かにする留学経験

現地で交友関係を広げるため、学業以外の時間も有効活用して積極的に活動をするようにしました。平日は、ETHの学生が無料で利用できるASVZのジムに通い、ASVZ主催の「Super Kondi」という体育館で約100人が参加するスポーツイベントにも積極的に参加しました。春以降、気温が上がるとチューリッヒ湖周辺をランニングするのが日課となり、夏にはスイス人の友達の家に招待してもらい、湖で一緒に泳ぐなど、アクティブで充実した日々を送ったのも良い思い出です。大学の機械系と電気電子系学生団体であるAMIVが主催するイベントにも参加し、その中でも特に印象に残ったのはスキー合宿です。約80人が参加し、初対面の人がほとんどでしたが、スキーを楽しみながらも様々な国の人たちと友人になることができました。最初は仲良くなれるか不安で、直前で参加申し込みをしたことを後悔しましたが、いざ参加してみるとすぐに打ち解けて、今でも交流のある方々もいます。学業以外の活動も自分自身の成長に繋がりましたし、他の国籍の友人ができたことは私の人生を豊かにする価値のある経験になりました。

STORY

長期留学だからこそ実現したヨーロッパ周遊

スイスはヨーロッパの中心に位置しており、留学中にさまざまな国を訪れる絶好の機会に恵まれました。本学からヨーロッパへ交換留学している他の学生たちと共に、ドイツのオクトーバーフェストを訪れました。また、6月のヨーロッパは日照時間が長い季節であり、その特性を活かしてヨーロッパ周遊旅行を満喫しました。スイスから電車でドイツの城を訪れたり、パリではオリンピック前の雰囲気を体験でき、多彩な経験を積むことができました。さらに、日本からでは訪れる機会が少ないラトビアも旅行先に選び、その美しい街並みと手頃な物価に驚かされながら、楽しい時間を過ごしました。

Advice 恵まれた環境で今しかできない留学経験を

留学は、思い立ったときに迷わず挑戦すべき貴重な経験だと感じています。本学には留学に関するサポート体制が整っており、世界各国の優れた大学との提携も多いため、非常に恵まれた環境が整っています。このような機会を最大限に活用することをお勧めします。もし、いきなり長期留学に行くことが不安な場合、まずは短期間の留学から始めることも一つの選択肢です。短期留学でも、学業に加えて、異文化交流を通じて人としての成長を実感できることでしょう。さらに、留学は将来を考える大きな契機にもなります。この貴重な機会にぜひチャレンジして、自分の視野を広げ、新たな経験を積んでください。

スキー合宿で知り合った友人と、ハッカソンに参加した際の写真

スイス人の友達に湖沿いの家に招待され過ごした夏休み

ヨーロッパ旅行中に行った超音速旅客機が展示されているドイツの交通博物館

派遣交換留学の詳細はp.31へ

東京科学大学・清華大学 大学院合同プログラム
・・・
中華人民共和国
清華大学

トップレベルの研究への挑戦と成長、未来へのステップ

物質理工学院 応用化学系　野中 菜々子さん
留学時学年　東京科学大学・清華大学 大学院合同プログラム：
修士課程1年 10月～翌年10月

Nanako Nonaka

中国トップレベルの研究機関での挑戦

私は大学院ではエネルギー化学を専攻し、蓄電池の研究をしています。特に、再生可能エネルギー由来の電力の貯蔵や電気自動車向け大型蓄電池に着目して研究に取り組んでいます。新聞やニュースで中国の車載電池市場が急速に拡大していることを知り、技術発展の鍵となる研究力を自分の目で確かめたいと思い、中国留学を考えるようになりました。また、中国の時代劇を観ることが好きで、歴史的な建造物や文化への関心も強く、かねてから中国を訪れてみたい、中国語習得にも挑戦したいという思いがありました。留学の計画を立てるにあたり、語学ではなく研究を軸にしたいと考え、中国トップクラスの研究機関である清華大学との大学院合同プログラムに応募し、留学を決意しました。

逆境とハードなプログラムを乗り越えて得た達成感と成長

COVID-19の影響により、中国への渡航は入学後もしばらく叶わず、日本でのオンライン授業から学修がスタートしました。このプログラムは2年半で清華大学と本学それぞれで修士論文を執筆し、両大学の修士学位（ダブルディグリー）取得を目指すハードな内容です。加えて、渡航後には隔離生活や研究室の利用制限も重なり、限られた時間の中で授業や修士論文執筆に取り組むのは、想像以上に大変でした。本学では空気二次電池の正極の反応場解析、清華大学ではリチウム金属電池への応用に向けた新規複合固体電解質の開発に取り組みました。清華大学の研究室では実験器具の使い方を仲間に教えてもらいながら、新しい研究テーマに挑戦することで専門知識や実験スキルの幅が広がりました。清華大学での1日は朝8時から夜21時までの授業を中心に進み、修士学生は、授業の合間や夜遅くまで熱心に研究をしています。私も朝9時頃から研究室に入り、実験や授業、課題、修士論文執筆に取り組み、23時頃に寮へ戻る生活を送っていました。ハードなプログラムですが、両大学の学生と学修面でも生活面でも助け合い、お互いに忙しさを理解し分かち合う仲間がいることで乗り越えることができました。

寮生活とイベントを通じた仲間との絆

多くの学生が学内の寮で生活を送り、共に多くの時間を過ごすことで、学生同士の絆が深まります。特に中国渡航後初めて参加した学内のダンス大会イベントは、私にとって思い出深い経験となりました。隔離期間中、WeChatで練習動画を共有してもらい練習し、隔離解除後に本番を迎えました。学科の仲間と一緒にステージで踊り、イベント終了後の焼肉屋での「お疲れ様会」では、知り合って1週間足らずの自分を、温かく迎え入れてくれたことにとても感謝しています。言語の壁も次第に克服していきました。中国語学習歴半年というなかで苦労は多かったものの、仲間やスタッフの皆さんが筆談や翻訳アプリを使い、親身に交流してくれたおかげで、少しずつ自信をつけることができました。日々の交流を通じ、語学力が向上しただけでなく、多くの方々との仲を深めることができたのは大きな喜びです。

STORY

埼玉親善大使として異文化を紡ぐ

私は当時「埼玉発世界行き」の奨学生として、埼玉親善大使を委嘱されていました。埼玉の魅力をPRできるように、公式観光情報サイト「ちょこたび埼玉」の紹介、埼玉名所の中国語でのプレゼン、埼玉銘菓のプレゼントなどをしたところ、「今度日本に行くときには埼玉に行ってみたい」という声をいただきとても嬉しかったです。一方で、私自身も中国文化への理解を深めました。清華大学のある北京には7つの世界文化遺産があり、歴史的な建造物が好きな私にとって、ロマンあふれる最高の場所でした。北京以外にも中国各地を訪れましたが、中でもチベット族の方の自宅に招いていただきご馳走になったことは、異文化交流の大切さを体感する貴重な体験となりました。

Advice まずは一歩踏み出す留学で描く未来への道標

私は留学を通じて、将来のキャリアビジョンを明確にし、その実現に向けた意欲が一層高まりました。「すべての人が安価で安全でクリーンなエネルギーを持続的に利用できるようにする」というSDGs目標に貢献できる蓄電池の開発に関わる中で、日中の連携や交流を促進する架け橋となりたいと考えています。新しい環境に飛び込むことは勇気が必要ですが、まずは一歩踏み出してみてください。挑戦してみようという気持ちを持つことで自分の可能性が大きく広がります。新たな出会い、発見、学びなど自分が思っていた以上に得られるものが多く、自分が日々成長していることに気づけるはずです。

清華プログラムの仲間とオリンピック公園でピクニック

学科の仲間と参加したダンス大会

修論発表会、指導教員と審査員の先生方との記念撮影

東京科学大学・清華大学 大学院合同プログラムの詳細はp.28へ

留学の準備

留学に行きたいと思いたったら、その日に向けて計画的に準備をしましょう。
派遣交換留学であれば約１年前、短期プログラムであれば
２か月～半年前に応募を締め切りますので、事前の準備が肝要です。

1 留学情報を収集しよう

留学情報サイト「留学ガイド」

留学に関する様々な情報をまとめて掲載しているウェブサイト。各種留学プログラムの最新情報の他、留学奨学金情報や留学手続きの流れ等を確認できます。また、過去に留学を経験した学生たちの留学体験談も多数掲載されているので、留学のイメージをつかむとともに、プログラムや留学先を選ぶ際の参考となること間違いなしです。

留学ガイド

https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad

みなさんが思い描く「留学」ができるように、留学プログラム診断ツールを作成しました。滞在期間、海外でやりたいこと、語学力etcから希望を選んで、あなたにぴったりの「留学」を探してみよう。

留学イベント

国際教育課では毎年春に全学イベントの留学フェアを開催しています。加えて、留学終了学生による報告会、各種留学プログラム説明会等、留学に関して皆さんが気になるテーマを取り上げたイベントを随時開催しています。

2025年は4月23日(水)に開催決定！

テーマの一例

- 本学の国際教育について理解する
- 留学×就活
- 本学の留学プログラムを知る
  （派遣交換留学・地域別・コンソーシアム等）
- 学位留学と奨学金について

国際交流メールニュース

留学プログラムや留学用奨学金に関する募集情報を随時メールニュースとして配信しています。幅広く情報を集めたい人、忙しくて自分で情報収集する時間のない人、募集時期を逃したくない人にもオススメ!

登録は上記「留学ガイド」またはこちらから

留学コンシェルジュ

留学について留学コンシェルジュに相談してみよう。 詳細p.15、16参照

2 留学の目的を考えよう

留学したいと思ったら、留学の目的を明確にしましょう。留学の目的がはっきりしているほど、充実した留学生活を送ることができ、留学による成果も期待できるでしょう。卒業までの学修計画の中にどのように留学を位置付けるのか、留学をどのように将来に活かすのかを考えることも大切です。

3 語学力を身に付けよう

留学をより実り多いものにするには、留学前に語学力をできるだけ向上させておく必要があります。また、留学プログラムの中には応募の際に語学要件が課されているものもありますので、自身の語学力を高めるほど、留学の選択肢が広がると言えます。語学力は一朝一夕で身に付くものではありませんので、早いうちからトレーニングしておきましょう。

語学学習に活用してみよう!

▶リベラルアーツ研究教育院 外国語セクション

ウェブサイトはこちらへ

様々なメニューを用意して学生の外国語学修を支援しています。

- 授業は必修科目のほか、外国語の検定試験対策、スピーキング、アカデミックプレゼンテーションなど、多様なニーズに応える選択科目を開講
- 春と夏の休暇中も英語・第二外国語の語学集中講座を開講

Check!

Support & Event

外国語学修資料室

外国語学修用に各種語学教材（英・仏・独・中・露、他）の閲覧・貸出を行っています。

※初回時のみ要学生証

場所
大岡山キャンパス
西3号館7階701号室

開室日時
月曜～木曜開室
詳細はウェブサイトを参照

外国語学修相談室

専任教員が外国語学修に関するあらゆる相談に応じています。

詳細
ウェブサイト参照

English Café

ネイティブスピーカーの先生を中心にランチを食べながら、気軽におしゃべりをする会です。

詳細
ウェブサイト参照

Open English Office Hours

ネイティブスピーカーの講師が、英語学習についての相談に応じます。英会話トレーニングにも最適です。

場所
大岡山キャンパス
西3号館10階1005号室

詳細
ウェブサイト参照

Writing Center

文章課題について相談できる教育機関です。アカデミック・ライティングの訓練を受けたチューター（本学所属の大学院生）が書き手との対話を重ね、文章の改善を支援します。対面・オンラインどちらでも対応可能です。

※但しオンライン希望者は3日前までにSlackにて申込必須

詳細
ウェブサイト参照

学内でできる国際交流！

SAGE

国際交流学生会SAGEは、主に海外の大学に所属する学生との交流の場を創る学生団体です。本学を訪問する海外学生との交流会、海外学生を本学に招く約11日間のプログラムなどを企画・運営しています。

留学生チューター

入学当初の留学生が不安や不便なく学修や日常生活ができるように先輩Science Tokyo生が支援する制度です（謝金支給有）。チューター活動を通して、外国語でのコミュニケーションを実践できるだけでなく、留学生の出身国の生活習慣や文化を学ぶ機会を得られます。また、自国の文化や社会制度等に対する考えを見直すきっかけにもなり、自身の留学にも活かせることでしょう。

留学に使える語学試験

プログラムによって認められる語学力判定試験の種類は異なりますが、
ここでは主なものを紹介します。

TOEFL iBT テスト

| 概 要 | 主に大学・大学院レベルのアカデミックな場面で必要とされる英語運用能力（読む・聞く・話す・書く、の４技能）を同時に測定する試験です。自然科学、社会科学、芸術など幅広い分野の教養科目や学校生活に関する題材が扱われます。テスト時間は約３時間です。

| 試験日程 | 毎月６～８回程度 | 受験料 | 245 米ドル

IELTS

| 概 要 | イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドや、多くのヨーロッパの協定校で英語能力の証明として認められている試験です。リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの４つのテストで構成され、所要時間は約２時間45分です。テスト方式（コンピューターまたはペーパー）を選択することができます。

| 試験日程 | 毎月10回以上（東京会場） | 受験料 | 27,500 円（税込）（英検協会で受験の場合）

TOEFL ITP

| 概 要 | 東京科学大つばめ生協で実施しています。
ペーパー版TOEFL®テスト（TOEFL® PBTテスト）のために制作された数多くのテスト問題を受け継ぎ、グローバルスタンダードによる評価測定を身近に教室内で行うことができます。派遣交換留学プログラムの応募にあたり、一部の派遣先大学でTOEFL ITPのスコアを利用することができます。

| 試験日程 | 年２回 | 受験料 | 5,160 円（税込）

TOEIC Listening & Reading テスト

| 概 要 | TOEIC L&Rはリスニング（約45分間・100問）、リーディング（75分間・100問）、合計約２時間で200問に答えるマークシート方式の一斉客観テストです。

| 試験日程 | 毎月１回程度 | 受験料 | 7,810 円（税込）

4 良い学業成績を残そう

プログラムや奨学金によっては応募の際に成績要件が
課せられているものがあります。

5 留学資金を確保しよう

留学には多くの費用がかかるもの。留学期間や行先によって金額は異なりますので、事前に希望の留学をするにはどの程度必要なのか確認し、家族にも相談しましょう。本学では、比較的安価に行けるプログラムや奨学金がセットになったプログラムも提供していますのでそちらも併せて調べてみましょう。

6 オンラインプログラムで疑似留学を体験してみよう

いつかは留学したいと考えている方は、まずはオンラインプログラムで疑似留学をしてみるのはいかがでしょうか。オンラインプログラムなら、渡航費や宿泊費等がかからない分、実際の留学よりも費用を抑えてプログラムに参加できます。本学や協定校が主催するプログラムの中には無料で参加できるものもあります。また、研究や院試、部活・サークル、就活で忙しくて今は日本を離れることができないという方でも両立しやすいでしょう。異文化コミュニケーションや英語ディスカッションの練習、現地の授業の体験などが気軽にできるオンラインプログラムのメリットを活かせば、将来の留学がより身近に感じられ、自信やモチベーションアップにもつながるかもしれません。

留学を含む国際教育カリキュラム

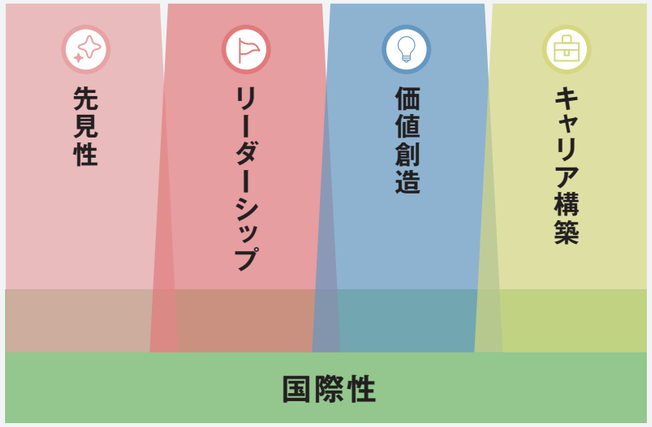
アントレプレナーシップ教育 グローバル教育オプション

2024年度以降入学者対象

Global Education Option -GEO

本学では、専門教育、教養教育、アントレプレナーシップ教育の3つの柱で教育を実施しています。グローバル教育オプションは、アントレプレナーシップ教育の一部として実施されており、アントレプレナーシップ教育コア科目を３単位履修した上で、指定科目の履修（５単位）等により、修了証明書が発行されます。
アントレプレナーシップとは、「新たな価値を開発・開拓し、それを社会に事業として設定する行動体系（マインドセット・スキル）」と本学では定義します。グローバル教育オプションは、グローバル教育をアントレプレナーシップ教育と有機的に結びつけ、より高い国際力を身に付けられるように構成されており、留学生との協働を前提とした課題解決型学習、留学を含む国際経験の習得や外国語コミュニケーションなど、演習、実践を重要視したカリキュラムとなっています。

アントレプレナーシップ教育における国際性の育成



https://www.cee.titech.ac.jp/info7.html

グローバル理工人育成コース

2023年度以前入学者対象

Global Scientists and Engineers Course

グローバル理工人育成コースは、本学の学士課程・修士課程において「国際基礎力」、「国際実践力」、「国際協働力」を段階的に発展させる国際性涵養に特化した教育カリキュラムです。
本コースでは専門性を基礎としたアイデンティティー・知識・経験・技術力を基軸とし、多様性を理解し、倫理観を持って、グローバル社会の未知な課題に対応できる「科学・技術の力で世界に貢献する人材」を育成することを目的とします。

http://www.ghrd.titech.ac.jp/

留学プログラムの選択

行き先で選ぶ

DESTINATION

国・地域別短期プログラムマップ

留学プログラムや派遣交換留学の対象校がある国・地域に色をつけています。

スウェーデン
- 1 グローバル海外研修
- 3 協定校シーズンプログラム
- 22 SERP
- 26 物質理工学院学生交流プログラム

ノルウェー

デンマーク
- 3 協定校シーズンプログラム
- 17 創造的デザインとものづくりのための共同教育プログラム

フィンランド

スイス
- 3 協定校シーズンプログラム

オランダ

ポーランド
- 26 物質理工学院学生交流プログラム

ベルギー
- 18 伝統的文化資源を活用した都市観光学の育成プログラム

オーストリア

イギリス
- 1 グローバル海外研修
- 2 TASTE海外短期語学学習
- 3 協定校シーズンプログラム
- 10 Imperial-Science Tokyo Global Fellows Programme
- 21 インペリアル・カレッジ・ロンドンとの研究留学プログラム（IROP）
- 22 SERP

トルコ

スペイン
- 22 SERP

インド
- 23 AOTULE

スリランカ
- 1 グローバル海外研修
- 23 AOTULE

ドイツ
- 2 TASTE海外短期語学学習
- 3 協定校シーズンプログラム
- 9 リンダウ・ノーベル賞受賞者会議
- 22 SERP
- 26 物質理工学院学生交流プログラム
- 27 アーヘン工科大学博士課程学生共同指導プログラム

マレーシア
- 1 グローバル海外研修
- 23 AOTULE

フランス
- 2 TASTE海外短期語学学習
- 3 協定校シーズンプログラム
- 22 SERP
- 26 物質理工学院学生交流プログラム
- 29 L'École des Ponts ParisTech（ポンゼショセ）とのデュアルディグリープログラム

イタリア
- 3 協定校シーズンプログラム
- 19 産業遺産のアダプティブリユースデザインの創生プログラム
- 22 SERP
- 26 物質理工学院学生交流プログラム

シンガポール
- 1 グローバル海外研修
- 3 協定校シーズンプログラム
- 20 キャンパスアジアプラス
- 23 AOTULE
- 24 AOSU

中国
- 3 協定校シーズンプログラム
- 5 ASPIREリーグ Student Workshop
- 7 AUA-AEARU HKUST Overseas Study Program
- 15 国際親善ロボットコンテスト
- 16 国際的建築家育成を目指した国際デザインワークショップ
- 20 キャンパスアジアプラス
- 23 AOTULE
- 24 AOSU
- 26 物質理工学院学生交流プログラム
- 28 東京科学大学・清華大学大学院合同プログラム

韓国
- 20 キャンパスアジアプラス
- 23 AOTULE
- 30 韓国科学技術院ー東京工業大学ダブルディグリープログラム

日本
- 6 ASPIRE UEDC
- 8 APRU-AEARU Multi-Hazards Summer Shchool

台湾
- 2 TASTE海外短期語学学習
- 12 国立台湾科技大学サマープログラム
- 14 防災工学インターナショナルインターンシップ
- 23 AOTULE
- 24 AOSU
- 31 台湾国立陽明交通大学とのダブルディグリープログラム

ベトナム
- 1 グローバル海外研修
- 4 Science Tokyo-AYSEAS（エイシアス）
- 23 AOTULE

フィリピン
- 2 TASTE海外短期語学学習

タイ
- 1 グローバル海外研修
- 13 TAIST-Science Tokyo Student Exchange Program in Thailand
- 23 AOTULE
- 24 AOSU

オーストラリア
- 2 TASTE海外短期語学学習
- 23 AOTULE

インドネシア
- 1 グローバル海外研修
- 11 インドネシア バンドン工科大学サマープログラム
- 23 AOTULE

カナダ
- 2 TASTE海外短期語学学習
- 3 協定校シーズンプログラム

アメリカ合衆国
- 1 グローバル海外研修
- 2 TASTE海外短期語学学習
- 3 協定校シーズンプログラム
- 22 SERP

プログラムの詳細については
p.17〜 留学プログラム一覧を参照ください。

留学プログラムの選択

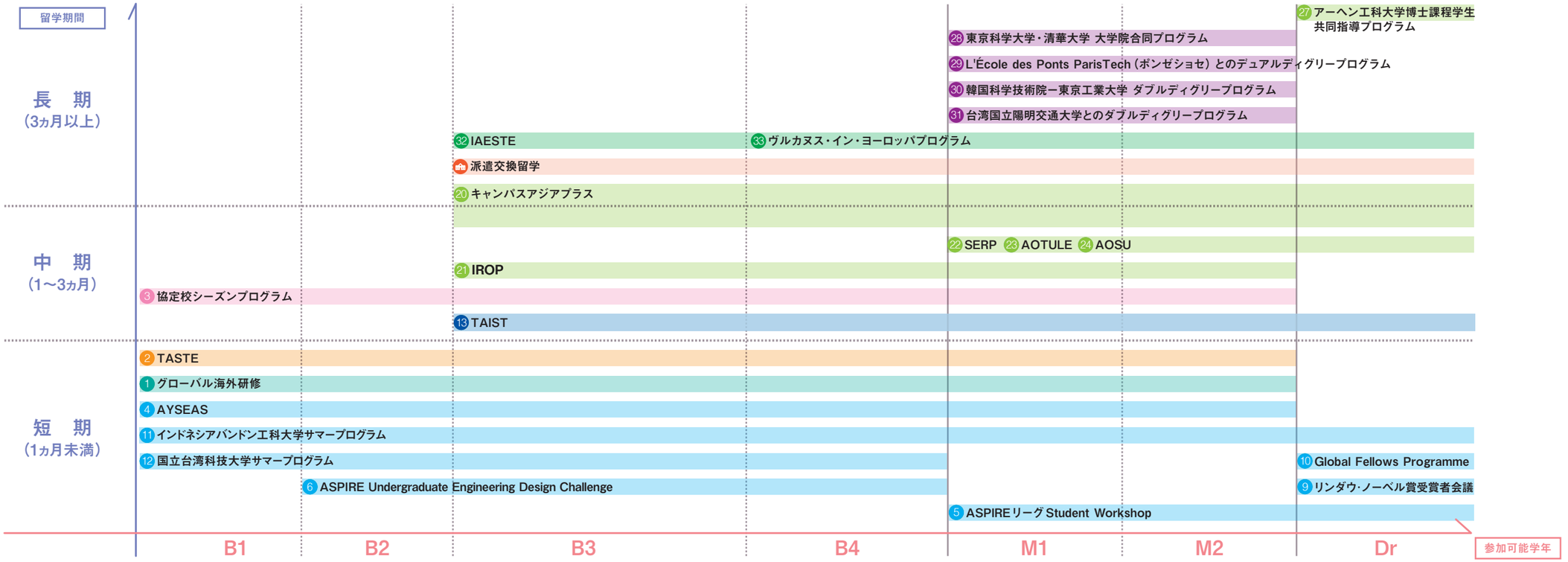
期間・学年で選ぶ

TERM& APTITUDE

留学期間（縦軸）と
参加可能学年（横軸）を
参考に当てはまる
留学プログラムを確認 ▶

あなたに向いている留学プログラム

各プログラムの詳細はp.17以降をご覧ください。



Taki Plaza へ行こう!

場 所	大岡山キャンパス Hisao & Hiroko Taki Plaza B1F
開室時間	平日　9:00〜17:00
MAIL	studyabroad@adm.isct.ac.jp

Taki Plaza地下1階には留学パンフレットやちらしを置いています。カウンターで相談もOK。16ページで紹介している留学コンシェルジュへの相談もお待ちしています!

留学のこと。聞いてみたいときはココへ行こう!

留学コンシェルジュがあなたを待っています!

留学相談担当

日ごろから学生の海外派遣業務に携わっているスタッフが、留学プログラム、留学先や留学時期の選択、留学準備（語学学習含む）等様々な相談に対しアドバイスします。

相談方法

留学コンシェルジュ
サービス申し込みフォーム
に記入してください。

https://forms.office.com/r/wVbDFz1nuG

留学コンシェルジュサービス申し込み

相談方法は 右記から選べます

- 対面での相談
- zoom相談
- メールでの相談

先輩に相談してみよう

留学促進学生団体 FLAP

『Science Tokyo生にとって留学が当たり前の選択肢に』をコンセプトに留学経験者が運営する学生団体です。留学イベントの運営、留学を終えた学生たちが自身の経験をもとに留学相談等をおこなっています。

短期海外研修

2週間程度の留学で海外経験第一歩を踏み出したい方

1 グローバル海外研修（グローバル教育オプション/グローバル理工人育成コース）

こんな方にオススメ！
将来長期留学を考えていて、色々な大学を見て回りたい。海外に行くのが初めて。異文化体験をしたい。体験留学をしたい。

世界トップレベルの大学での授業の聴講、学生交流、ラボ見学や、国際機関や現地企業の訪問を通じて、長期留学や海外でのキャリア形成に備える体験留学。

●単位付与有

主な応募資格	学士課程学生・修士課程学生（国籍、学年、学院・系・コース等不問）		
費用・奨学金	一定の条件を満たす学生に6～10万円が支給される可能性がある。（派遣地域により異なる）		
留学期間	10日～2週間程度	使用言語	英語
問い合わせ先	アントレプレナーシップ教育機構グローバル教育実施室：ghrd.sien@jim.titech.ac.jp		

スタディツアー型

プログラム国(派遣国)	訪問先大学等	時期	募集人数	費用
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学、ウプサラ大学 リンシェーピン大学	8～9月	10～15名	25～40万円
イギリス	ヨーク大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン ロンドン大学クイーンメアリー校	2～3月	10～15名	25～45万円
シンガポール マレーシア	南洋理工大学、マラヤ大学 シンガポール工科デザイン大学	2～3月	10～15名	25～40万円
ベトナム	ハノイ工科大学	未定	10～15名	25～40万円

スキル育成型

プログラム国(派遣国)	訪問先大学等	時期	募集人数	費用
タイ （異文化グループワーク）	チュラーロンコーン大学	8～9月	10～15名	25～40万円
インドネシア （異文化グループワーク）	サンボエルナ大学	8～9月	10～15名	25～40万円
アメリカ合衆国 （リーダーシップ育成）	ジョージア工科大学	2～3月	10～15名	25～40万円
スリランカ （異文化グループワーク）	ペラデニヤ大学 ランカ・ニッポン・ビズテック・インスティテュート	2～3月	10～15名	25～40万円

語学

語学力を強化したい方、将来の長期留学に備えたい方

2 TASTE海外短期語学学習

こんな方にオススメ！
夏休みや春休みを利用して語学力を向上させたい方！

対象の大学で実施する短期語学研修プログラムに参加する者に対して奨学金支給、単位付与、手続き支援を行います。

●語学研修プログラムへの応募は各自　●国立台湾大学プログラム：本学の推薦を受けた学生は授業料免除で参加可能

主な応募資格	●学士課程学生、修士課程学生　●TOEIC 500点以上またはそれと同等の英語能力を有する者
人数	年間30人程度（予定）
奨学金	月額6万円～20万円。渡航先によって異なる
応募締切	夏派遣：3～7月、春派遣：12～1月　※各対象大学への申込はこれより早い。各自で申し込むこと。
問い合わせ先	Taki Plaza B1F 国際教育課：outbound@adm.isct.ac.jp

TASTE海外短期語学学習の留学先

※例年の実施内容に基づいて記載しています。2025年度の最新情報はウェブサイトを参照。

夏派遣

夏 英語　夏 フランス語　夏 ドイツ語　夏 中国語

対象国・地域	対象大学	授業料（宿舎、諸費用別）	日程
アメリカ合衆国（英語）	ワシントン大学	USD1,875	7月～9月の3週間
	カリフォルニア大学バークレー校	USD595/unit	7月～8月の3～6週間
	カリフォルニア大学デービス校	USD2,010	7月～9月の4週間
カナダ（英語）	ブリティッシュ・コロンビア大学	CAD1,950~2,850	6月～8月の4週間
	ウォータールー大学	CAD4,438	6月～8月の4週間
イギリス（英語）	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	GBP1,825~2,850	6月～8月の3週間
オーストラリア（英語）	クィーンズランド大学	AUD2,475	6月～9月の5週間
フランス（フランス語）	レンヌ第二大学	EUR620～EUR1,050	6月～8月の2～4週間
ドイツ（ドイツ語）	ベルリン工科大学	EUR680	7月の2週間
	ハノーバー大学*	EUR750	7月～8月の4週間
台湾（中国語）	国立台湾大学*	USD2,700~4,000	6月～8月の6週間

春派遣

春 英語　春 中国語

対象国・地域	対象大学	授業料（宿舎、諸費用別）	日程
アメリカ合衆国（英語）	ワシントン大学	USD1,875	2月～3月の3週間
	カリフォルニア大学デービス校	USD2,010	2月～3月の4週間
カナダ（英語）	ブリティッシュ・コロンビア大学	CAD1950~2,850	2月～3月の4週間
オーストラリア（英語）	クィーンズランド大学	AUD2,475	2月～3月の5週間
フィリピン（英語）	デラサール大学*	PHP25,650	2月～3月の4週間
台湾（中国語）	国立台湾大学*	USD2,300	3月の3週間

*の大学は各大学のウェブサイト等から直接申し込まず、先に国際教育課に申し込むこと。

シーズンプログラム

協定校等で授業受講・研究を体験したい方

3 協定校シーズンプログラム

海外協定校のサマースクールやウィンタースクールに参加し、世界各国の学生と共に主に英語で専門科目の授業受講や研究を行う。参加者には、単位付与や手続き支援が用意されている。協定校への申し込みは各自で行う。
「＊」の大学は授業料免除など優遇がある。各大学のウェブサイト等から直接申し込まず、先に国際教育課に申し込むこと。
※例年の実施内容に基づいて記載しています。2025年度の最新情報はウェブサイトを参照。

こんな方にオススメ!
海外のトップクラスの大学の授業を受けてみたい方!

問い合わせ先　国際教育課：outbound@adm.isct.ac.jp

留学先	タイプ	費用	日程	本学締切
カリフォルニア大学 バークレー校（アメリカ）	講義 受講	授業料USD595/ unit その他	5月～8月の3～12週間	3月～5月
リンシェーピン大学 （スウェーデン）＊	講義 受講	4名まで 授業料免除（宿舎別）	7月の4週間	3月
アーヘン工科大学（ドイツ）	講義 受講	授業料 EUR2,250~3,350（宿舎別）	6月～9月の2～3週間	4月～5月
ベルリン工科大学（ドイツ）	講義 受講	授業料 EUR950~2,300（宿舎別）	7月～8月の2～4週間	5月～6月
ハノーバー大学（ドイツ）	研究	参加費 EUR2,900（宿舎込）	5月～7月の11週間	3月
デンマーク工科大学 （デンマーク）＊	講義 受講	3名まで授業料免除	6月～8月の3～9週間	2月
トレント大学（イタリア）＊	講義 受講	参加費 EUR450（宿舎込）	1月～2月の2週間 7月の2週間	9月 3月
ポン・ゼ・ショセ（フランス）＊	講義 受講	授業料免除	8月～2月	3月
オックスフォード大学（イギリス）	講義 受講	授業料GBP4,240	6月～8月の6週間	4月
ユニバーシティ・カレッジ・ ロンドン（イギリス）	講義 受講	授業料 GBP2,585～4,620	6月～8月の3～6週間	4月
南洋理工大学 （シンガポール）＊	講義 受講	2名まで 授業料免除（宿舎別）	6月～7月の2～4週間	3月
香港科技大学（中国）	講義 受講	3名まで授業料免除	6月～8月の8週間	2月
スイス連邦工科大学 チューリッヒ校（スイス）	研究	無料 宿泊費・渡航費等が支給される	7月1日～8月31日	12月
モントリオール理工科大学 （カナダ）	研究	年間2名まで授業料免除	夏期と冬期に4か月ずつ	夏期：11月 冬期：7月

交流

海外の学生や研究者との交流を通して、新たな見識を広げたい方

4 Science Tokyo-AYSEAS（エイシアス）

Science Tokyo-Asia Young Scientist and Engineer Advanced Study Program

本学学生がアジアに赴き、現地・近隣国の大学生と共に企業・政府機関・大学などを訪問する。参加学生は、科学者・技術者の卵として日本も含めたアジアの開発・発展における科学技術の役割というテーマの下、現地調査で得た知見に基づきディスカッションを行い、現地訪問最終日に各ディスカッショングループとしての結論を発表する。

こんな方にオススメ!　語学力を向上させたい方! 海外で友達を作りたい方!

https://www.titech.ac.jp/public-relations/global/featured/ayseas

留学先	2025年度：ベトナム	期間	9月中旬～下旬の10日程度。 第2クオーターに事前学習あり。
主な応募資格	● 正規課程学生（学士、修士）　● 国籍・学年・学院・系・コース等は不問 ● プログラムは全て英語で行われるため、TOEFL iBT80またはTOEIC750相当の英語力が望ましい。　※詳細は募集要項で確認のこと		
費用・奨学金	旅費（航空券・ホテルなどを含め20万円程度）は原則自費。ただし、奨学金（約7万円）給付の可能性あり。		
人数	15名		
募集締切	5月下旬頃	備考	
問い合わせ先	国際教育課海外留学グループ：ayseas@adm.isct.ac.jp		

5 ASPIREリーグ Student Workshop

ASPIREリーグは、香港科技大学、韓国科学技術院、南洋理工大学、清華大学、本学のアジア理工系トップ５大学で構成されたコンソーシアム。毎年６～７月に議長校で開催されるフォーラムに合わせ、学生ワークショップを開催。特定のテーマに関連した講義や研究施設見学、グループワーク等の活動に参加し、最終日にグループ発表を行う。

こんな方にオススメ!　アジア圏の学生と交流できる!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/aspire-student-ws

留学先	加盟大学所属国（2025年は香港科技大学で開催）	期間	7月上旬～中旬頃
主な応募資格	● 大学院課程学生　● 英語で議論が可能であること　● ASPIREリーグ加盟大学の学生との交流に関心があること		
費用・奨学金	渡航費等、費用の一部を本学が支援する。※国費留学生、外国政府派遣学生は奨学金受給の対象外。		
人数	5名		
募集締切	5月（予定）	備考	現地での宿泊費、食事等は、主催大学が負担。 保険や現地交通費、渡航費等は本人負担。
問い合わせ先	総務企画部企画戦略課国際室企画調整グループ：aspire.sciencetokyo@adm.isct.ac.jp		

6 ASPIRE Undergraduate Engineering Design Challenge

ASPIREリーグは、香港科技大学、韓国科学技術院、南洋理工大学、清華大学、本学のアジア理工系トップ5大学で構成されたコンソーシアム。ASPIREリーグの学部生対象、エンジニアリングデザインの基礎を学べるワークショッププログラム。開催はScience Tokyo大岡山キャンパスでありながら、国際的なワークショップを経験できる。

こんな方にオススメ!　日本でアジア圏の学生と交流できる!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/aspire-ug

留学先	東京科学大学大岡山キャンパス	期間	2025年6月23日～6月27日
主な応募資格	1.本学所属の学部生（2025年4月1日時点で学部2～4年）　2.ASPIREリーグ加盟大学の学生交流に関心があること		
費用・奨学金	無し		
人数	10名（全体では最大30名参加予定）		
募集締切	4月末	備考	
問い合わせ先	総務企画部企画戦略課国際室企画調整グループ：aspire.sciencetokyo@adm.isct.ac.jp		

7 AUA-AEARU HKUST Overseas Study Program – Entrepreneurship Bootcamp

東アジア研究型大学協会（AEARU）加盟大学の学生向けプログラム。香港の起業エコシステムを包括的に紹介することを目的とする7日間のアントレプレナーシップ・ブートキャンプ。現地視察、ネットワーキング・イベントなどが含まれる。

こんな方にオススメ! アジア圏の学生と交流できる!

https://www.aearu.com/home/

留学先	香港科技大学	期間	2025年7月8日～7月14日（暫定）
主な応募資格			
費用・奨学金	渡航費など、費用の一部を本学が支援する。※国費留学生、外国政府派遣学生は奨学金支給の対象外		
人数	2名		
募集締切	5月16日	備考	現地での宿泊費、食事などは主催大学が負担。 保険や現地交通費、渡航費などは本人負担。
問い合わせ先	総務企画部企画戦略課国際室企画調整グループ：sciencetokyo.global@adm.isct.ac.jp		

8 APRU-AEARU Multi-Hazards Summer School, Tohoku University

東アジア研究型大学協会（AEARU）加盟大学の学生向けサマースクール。セミナー、グループワーク、被災地へのフィールドトリップで構成され、環太平洋大学協会（APRU）と共同で開催。

こんな方にオススメ! 日本でアジア圏の学生と交流できる!

https://www.aearu.com/home/

留学先	東北大学	期間	2025年7月下旬
主な応募資格			
費用・奨学金	渡航費など、費用の一部を本学が支援する。※国費留学生、外国政府派遣学生は奨学金支給の対象外		
人数	未定		
募集締切	6月末	備考	現地での宿泊費、食事などは主催大学が負担。 保険や現地交通費、渡航費などは本人負担。
問い合わせ先	総務企画部企画戦略課国際室企画調整グループ：sciencetokyo.global@adm.isct.ac.jp		

9 日本学術振興会（JSPS）リンダウ・ノーベル賞受賞者会議

リンダウ・ノーベル賞受賞者会議は、世界各国の若手研究者の育成を目的として1951年に開設され、毎年リンダウ（Lindau:ドイツ南部のボーデン湖に面する保養地）において1週間程度の日程で開催されている。毎年30名程度のノーベル賞受賞者が招かれ、各国から集まった若手研究者に対して講演を行うと共に、参加者とのディスカッションに応じるものである。

こんな方にオススメ! 学術交流をして見識を広げたい!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/lindau-nobel

留学先	ドイツ・リンダウ	期間	毎年6月から8月のうち1週間
主な応募資格	下記の①及び②の条件を満たす必要がある。 ①日本国籍を持つ者又は我が国に永住を許可されている外国人であって、申請時に本学に所属する博士課程学生又は ポスドク研究者（博士の学位取得後5年以内）であること。 ②過去に本会議に参加したことがなく、会議開催時に35歳未満であること。		
費用・奨学金	①所属機関から会場への往復交通費（外国旅費・内国旅費）および ②会議参加費（主催者が提供する宿泊施設の使用に要する経費・食事代が含まれる）は、JSPSが負担		
人数	12名以内（2024年度募集要項より、年度、分野により異なる）※本学からの推薦人数に上限はない		
募集締切	7月中旬～8月上旬（渡航前年度）	備考	
問い合わせ先	国際教育課海外留学グループ：outbound@adm.isct.ac.jp		

10 インペリアル・カレッジ・ロンドンとの博士後期課程学生交流プログラム
Imperial-Science Tokyo Global Fellows Programme

インペリアル・カレッジ・ロンドンの博士後期課程学生と寝食を共にしながら、専門分野の垣根を越えて世界規模の課題、持続可能な開発目標SDGsについて考える約1週間の合宿型国際交流プログラム。ロンドン又は東京において毎年交代で開催される。2024年は9月にロンドンで開催。本プログラム終了後、希望者はインペリアル・カレッジ・ロンドンにて1ヶ月から3ヶ月間の研究室滞在を行うことができる。

こんな方にオススメ! 多様なバックグラウンドを持つ学生と協力して、世界共通の課題に立ち向かいたい方。

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/gfp-imperial

留学先	ロンドン（研究室滞在もロンドン）	期間	未定
主な応募資格	博士後期課程学生 （国籍、コース・専攻は不問、非正規課程学生を除く。）		
費用・奨学金	航空券代、海外旅行保険料は自己負担。1週間のプログラム期間中の宿泊先は大学から提供される。 研究室滞在を行う場合は、3週間の宿泊費は自己負担。奨学金（8万円）給付の予定あり。		
人数	15名程度		
募集締切	未定	備考	修了者には博士文系教養科目の単位が付与される。
問い合わせ先	国際教育課海外留学グループ：outbound@adm.isct.ac.jp		

11 インドネシア バンドン工科大学サマープログラム

アジア・オセアニア地域から派遣された学生やバンドン工科大学の学生らとともに、寮生活を送りながら、講義受講、研究機関・インフラ施設訪問、現地の言語・文化学習、英語によるプレゼン、郊外へのエクスカーションに参加します。ジャワ島に位置するバンドンは夏でも冷涼な気候で知られています。

こんな方にオススメ! 学術交流をして見識を広げたい!

留学先	バンドン工科大学（インドネシア・バンドン）	期間	夏季（7～8月頃）の2～3週間程度
主な応募資格	工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院に所属する学士課程・修士課程・博士課程の学生		
費用・奨学金	原則として授業料・滞在費負担はないが、渡航費は自己負担（20万円前後）。		
人数	2～5名程度		
募集締切	5～6月頃	備考	
問い合わせ先	国際交流支援チーム：ko.intl@adm.isct.ac.jp		

12 国立台湾科技大学サマープログラム

空路約3時間にある台湾は、初めての留学先として最適な場所のひとつです。寮生活を送りながら、台湾科技大学の学生とともに講義受講や、設定テーマのもと、混合チームで制作に取り組みグループ発表を行います。台湾を代表する企業への訪問も行うことがあります。

こんな方にオススメ! 学術交流をして見識を広げたい!

留学先	国立台湾科技大学（台湾・台北）	期間	夏季（8月予定）の2週間～4週間
主な応募資格	工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院に所属する学士課程生		
費用・奨学金	渡航費は自己負担。		
人数	最大15名		
募集締切	5月頃	備考	
問い合わせ先	国際交流支援チーム：ko.intl@adm.isct.ac.jp		

専門　短期間で専門分野の研修を行いたい方

13 TAIST-Science Tokyo Student Exchange Program in Thailand

Science Tokyo、タイ国立科学技術開発庁、タイの５大学、タイ学術研究会議による国際連携大学院TAIST（タイスト）を活用した学生交流プログラム。Automotive and Advanced Transportation Engineering (A2TE), Artificial Intelligence and Internet of Things (AIoT), Sustainable Energy and Resources Engineering (SERE)のいずれかのプログラムに参加し、バンコク郊外のタイランドサイエンスパークにて関連分野の研究室でインターンシップやTAIST講義の受講に取り組む。

A2TE　AIoT　SERE

こんな方にオススメ！ 海外の研究機関で研究活動をしたい！

留学先	タイ	期間	5月から3月の間の1ヶ月～2ヶ月程度（各プログラムによる）
主な応募資格	● 本学正規課程学生　● 学年は各プログラムの募集要項参照 ● A2TE, AIoT, SEREのいずれかの分野の基礎知識を有する者	備考	
費用・奨学金	渡航費、生活費等で20～25万円程度。 一定の条件を満たす学生に、奨学金（月額7万円）が支給される可能性がある。	募集締切	各プログラムの募集要項参照
人数	15名程度	問い合わせ先	国際連携推進課：taist@adm.isct.ac.jp

14 防災工学インターナショナルインターンシップ

国際大学院プログラム「レジリエントな都市更新に貢献する環境デザイナー育成プログラム」やこれに連動する「環境デザイン特別専門学修プログラム」で推奨する海外インターンシップで、実際に海外に赴き、現地でのカウンターパートの大学教員の指導のもと、現地学生と協働作業で、都市防災を対象とした調査・研究・資料収集・レポート作成並びに発表を行う。

こんな方にオススメ！ 短期間で専門分野の研修をしたい！

留学先	台湾 国立中央大学	期間	9月の約2週間
主な応募資格	大学院課程学生（日本人学生・留学生） ※大学院科目「International Internship」履修者を優先とする	備考	
費用・奨学金	旅費（渡航費、滞在費等を含む10～15万円程度）は原則自費。	募集締切	5月（変更の可能性あり）
人数	10名程度	問い合わせ先	環境・社会理工学院 教授 千々和伸浩：chijiwa.n.2c82@m.isct.ac.jp

15 国際親善ロボットコンテスト（International Design Contest:IDCロボコン）

毎年異なるコンテストルールが初日に与えられ、国際混成チームを構成し、チーム毎に２週間でロボットを設計・製作して最終日にコンテストを行う。言葉の壁や異なる国の文化や習慣を超えて、協調してものを作る体験を通して国際的なもの作りの難しさや楽しさを学ぶ。

こんな方にオススメ！ もの作りと異文化体験を同時にしたい！

http://www.idc-robocon.org/index.html

留学先	ブラジル・フランス・アメリカ・中国・タイ・韓国・シンガポール （2025年は上海で開催予定）	期間	7月か8月の2週間
主な応募資格	サイバーフィジカルソリューション受講者	備考	数年に一度日本で開催する、2024年はハイブリッドで開催。
費用・奨学金	（交通費・滞在費・参加費基本無料）	募集締切	毎年4月
人数	4名	問い合わせ先	サイバーフィジカルソリューションのガイダンス時に説明

16 国際的建築家育成を目指した国際デザインワークショップ

このプログラムでは、中国の上海および課題敷地の都市に滞在し、現地の教員や学生等との共同により、約２週間の国際デザイン・ワークショップを行う。急速な発展を遂げている中国国内の建築・都市を視察し、調査および設計案の作成やプレゼンテーションを通して、真に国際性豊かな創造性を身につけることが期待される。

こんな方にオススメ！ 短期間で専門分野の研修をしたい！

留学先	中国・同済大学ほか	期間	11月下旬頃の15日間
主な応募資格	環境・社会理工学院 建築学系 修士課程	備考	
費用・奨学金		募集締切	8月上旬頃
人数	約15名	問い合わせ先	環境・社会理工学院 建築学系 村田涼： murata.r.ac@m.titech.ac.jp

17 創造的デザインとものづくりのための共同教育プログラム

デンマーク王立芸術アカデミー建築学部（Royal Danish Academy - Architecture, Design, Conservation）と本学環境・社会理工学院との部局間協定に基づく、建築・都市デザイン分野の大学院生を対象とする学生交流プログラムです。

こんな方にオススメ！ 海外の大学で設計スタジオやデザイン理論などの授業を履修したい！

https://royaldanishacademy.com/apply-exchange

留学先	デンマーク王立芸術アカデミー Royal Danish Academy - Architecture, Design, Conservation	期間	2セメスターまたは1セメスター（秋学期：9月～1月、春学期：2月～6月）
主な応募資格	環境・社会理工学院 修士課程または博士課程	備考	
費用・奨学金	自己負担（応募者が各自、奨学金を申請・取得することを強く奨励する）	募集締切	秋学期からの派遣は2月末、春学期からの派遣は8月末を予定
人数	2名（各1セメスター）または1名（2セメスター）	問い合わせ先	環境・社会理工学院 建築学系 村田涼： murata.r.ac@m.titech.ac.jp

18 伝統的文化資源を活用した都市観光学の育成プログラム

ベルギーのルーヴェン・カトリック大学建築学部（KU Leuven, School of Architecture）と本学環境・社会理工学院との部局間協定に基づく、建築・都市デザイン分野の大学院生を対象とする学生交流プログラムです。

こんな方にオススメ！ 海外の大学で設計スタジオやデザイン理論などの授業を履修したい！

https://arch.kuleuven.be/english/studying/prospective-students

留学先	ルーヴェン・カトリック大学建築学部 KU Leuven, School of Architecture	期間	2セメスターまたは1セメスター（秋学期：9月～2月、春学期：2月～7月）
主な応募資格	環境・社会理工学院 修士課程または博士課程	備考	
費用・奨学金	自己負担（応募者が各自、奨学金を申請・取得することを強く奨励する）	募集締切	秋学期からの派遣は2月末、春学期からの派遣は8月末を予定
人数	2名（各1セメスター）または1名（2セメスター）	問い合わせ先	環境・社会理工学院 建築学系 村田涼： murata.r.ac@m.titech.ac.jp

19 産業遺産のアダプティブリユースデザインの創生プログラム

イタリアのトリノ工科大学建築デザイン学科（Politecnico di Torino, Department of Architecture and Design）と本学環境・社会理工学院との部局間協定に基づく、建築学系の主に歴史意匠、都市景観、まちづくり分野の大学院生を対象とする学生交流プログラムです。

こんな方にオススメ！ 海外の大学で設計スタジオや歴史建築の保存・活用、都市環境デザインなどの授業を履修したい！

https://www.polito.it/en/education/international-students/exchange-students

留学先	トリノ工科大学建築デザイン学科 Politecnico di Torino, Department of Architecture and Design	期間	2セメスターまたは1セメスター（秋学期：9月～1月、春学期：2月～6月）
主な応募資格	環境・社会理工学院 建築学系 修士課程	備考	
費用・奨学金	自己負担（応募者が各自、奨学金を申請・取得することを強く奨励する）	募集締切	秋学期からの派遣は2月末、春学期からの派遣は8月末を予定
人数	2名（各1セメスター）または1名（2セメスター）	問い合わせ先	環境・社会理工学院 建築学系 村田涼： murata.r.ac@m.titech.ac.jp

研究　数ヵ月程度、専門科目履修や研究室所属したい方

20 キャンパスアジアプラス

韓国科学技術院 [KAIST]（韓国）、清華大学（中国）、南洋理工大学（シンガポール）との共同運営プログラム。派遣先大学では、研究室に所属し研究活動を行うほか、授業履修も可能。サマースクールも行っている。最先端科学技術における専門性を強みとしながら、異分野の専門家たちと協働して知的成果を生み出せる人材育成をめざす。

こんな方にオススメ! ● 韓国、中国、シンガポールで経験を積みたい ● 研究室に所属し研究活動したい!

http://www.ipo.titech.ac.jp/campusasia/japanese/

留学先	韓国科学技術院 [KAIST]（韓国）、清華大学（中国）、南洋理工大学（シンガポール）	期間	1ヶ月～10ヶ月
主な応募資格	学士課程3年生以上及び大学院課程学生 （サマースクールのみ、派遣大学先によっては学士課程1年生から参加可。 詳細はWEBサイトを確認のこと）	備考	最新情報・詳細はWEB サイトを参照のこと オンラインでの実施に切り替わる可能性あり
費用・奨学金	現地生活費（10万円以内）、奨学金支給、航空券支給、宿舎提供等	募集締切	WEBサイトを確認のこと
人数	年間計10名程度	問い合わせ先	国際教育課キャンパスアジア事務局： campusasia@adm.isct.ac.jp

21 インペリアル・カレッジ・ロンドンとの研究留学プログラム（IROP）

インペリアル・カレッジ・ロンドンの夏休み時期にインペリアルの研究室に滞在し、２か月間にわたって受入教員の元で研究を行う。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/irop

留学先	インペリアル・カレッジ・ロンドンとの研究留学プログラム（IROP）	期間	7～8月の8週間
主な応募資格	本学正規課程の学士課程3年生以上及び修士課程学生（変更の可能性あり） 推奨される語学要件：CEFR B2（TOEIC 785、TOEFL ITP 543、 TOEFL iBT 72、IELTS 5.5）	備考	25年度 インペリアルでの募集分野（参考） ・Chemical Engineering　・Mathematics ・Materials　・Dyson School of Design Engineering 各2名
費用・奨学金	授業料及び研究費は無料。住居費、航空券代、海外旅行保険料、 その他の現地生活費は自己負担。奨学金の支給の可能性あり。	募集締切	2025年12月（予定）
人数	8名程度	問い合わせ先	国際教育課海外留学グループ: outbound@adm.isct.ac.jp

22 Summer Exchange Research Program（SERP）

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院がSERP協定を結んでいる大学の工学系研究室へ、本学に在籍したまま3ヶ月程度、研究留学する部局間協定に基づくプログラム。本学に授業料を支払うことで、留学先の授業料が免除になる。留学先の大学では、研究室に所属し研究活動を行う。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-exchange.html

留学先	ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ウォーリック大学、サウサンプトン大学、ソルボンヌ大学、 エコール・ポリテクニーク、アーヘン工科大学、マドリッド工科大学、ウィスコンシン大学マディソン校、 カリフォルニア大学サンタバーバラ校、カールスタッド大学、バスク大学、ローマ・トルヴェルガタ大学	期間	3か月程度、60日未満不可 出発月：第1回募集 6～11月、第2回募集 12～5月
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する 学士課程最終学年の学生及び大学院課程学生（国籍不問） ● TOEFL（iBT）70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、 その旨を記した理由書（様式任意）を添えて申請すること。 ● 工・物・環3学院や大学で実施している国際交流事業や、関連する講義等に積極的に参加している学生は 選考において考慮する ※但し、社会人学生は対象外	備考	次の場合は本プログラムの支援の対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、 講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 本学との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、 他プログラムの活動の一部としての応募の場合 工・物・環学院合同学生国際交流プログラムとして 22番～25番合同で募集を行います
費用・奨学金	派遣（留学）経費の一部を支援。（ウェブサイトで詳細を要確認）	募集締切	第1回募集：12月締切　第2回募集：6月締切 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板等
人数	各校2名程度	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号：H-106 内線：3859　メール：ko.intl@adm.isct.ac.jp

23 AOTULE Student Exchange Program（AOTULE）

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院がAOTULE協定を結んでいる大学の工学系研究室へ、本学に在籍したまま３ヶ月程度、研究留学する部局間協定に基づくプログラム。本学に授業料を支払うことで、留学先の授業料が免除になる。留学先の大学では、研究室に所属し研究活動を行う。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-exchange.html

留学先	メルボルン大学（オーストラリア）、清華大学（中国）、国立台湾大学（台湾）、香港科技大学（中国）、 バンドン工科大学（インドネシア）、韓国科学技術院（KAIST）（韓国）、インド工科大学マドラス校（インド）、マラヤ大学（マレーシア）、 南洋理工大学（シンガポール）、チュラーロンコーン大学（タイ）、ハノイ工科大学（ベトナム）、モラトゥア大学（スリランカ）	期間	3か月程度、60日未満不可 出発月：第1回募集 6～11月 第2回募集 12～5月
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する 学士課程最終学年の学生及び大学院課程学生（国籍不問） ● TOEFL（iBT）70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由が ある場合には、その旨を記した理由書（様式任意）を添えて申請すること。 ● 工・物・環3学院や大学で実施している国際交流事業や、関連する講義 等に積極的に参加している学生は選考において考慮する ※但し、社会人学生は対象外	備考	①次の場合は本プログラムの支援対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、 講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 本学との共同研究をする場合　● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、 他プログラムの活動の一部としての応募の場合 ②本プログラム以外にも各AOTULE加盟大学が主催する短期交換留学プログラム（学士課程 学生含む）があるので、これらの詳細については国際交流支援チームまで問い合せること。 工・物・環学院合同学生国際交流プログラムとして 22番～25番合同で募集を行います
費用・奨学金	派遣（留学）経費の一部を支援。（ウェブサイトで詳細を要確認）	募集締切	第1回募集：12月締切　第2回募集：6月締切 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板等
人数	各校2名程度	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号：H-106 内線：3859　メール：ko.intl@adm.isct.ac.jp

24 Asia-Oceania Strategic Universities Exchange Program（AOSU）
アジア・オセアニア重点大学交流プログラム

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院がAOSU協定を結んでいる大学の工学系研究室へ、本学に在籍したまま３ヶ月程度、研究留学する部局間協定に基づくプログラム。本学に授業料を支払うことで、留学先の授業料が免除になる。留学先の大学では、研究室に所属し研究活動を行う。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-exchange.html

留学先	武漢理工大学（中国）、国立成功大学（台湾）、国立台湾科技大学（台湾）、 タマサート大学（タイ）、チェンマイ大学（タイ）、シンガポール工科・デザイン大学（シンガポール）	期間	3か月程度、60日未満不可 出発月：第1回募集 6～11月、第2回募集 12～5月
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する 学士課程最終学年の学生及び大学院課程学生（国籍不問） ● TOEFL（iBT）70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、 その旨を記した理由書（様式任意）を添えて申請すること。 ● 工・物・環3学院や大学で実施している国際交流事業や、関連する講義等に 積極的に参加している学生は選考において考慮する ※但し、社会人学生は対象外	備考	次の場合は本プログラムの支援の対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、 講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 本学との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、 他プログラムの活動の一部としての応募の場合 工・物・環学院合同学生国際交流プログラムとして 22番～25番合同で募集を行います
費用・奨学金	派遣（留学）経費の一部を支援。（ウェブサイトで詳細を要確認）	募集締切	第1回募集：12月締切　第2回募集：6月締切 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板等
人数	各校2名程度	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号：H-106 内線：3859　メール：ko.intl@adm.isct.ac.jp

25 工・物・環3学院主体の部局間交流協定、または大学間交流協定を結んでいる大学との交流

前項 SERP・AOTULE・AOSU 以外の大学で部局間交流協定や大学間交流協定を結んでいる大学への派遣・留学に対する 奨学金の給付。授業料不徴収の取り決めは無し。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

http://www.eng3.e.titech.ac.jp/~inter/inter-j-exchange.html

留学先	大学ウェブサイト：全学及び部局間協定一覧参照	期間	指定なし（1年以内） 出発月：第1回募集 6～11月、第2回募集 12～5月
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する 学士課程最終学年の学生及び大学院課程学生（国籍不問） ● TOEFL（iBT）70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、 その旨を記した理由書（様式任意）を添えて申請すること。 ● 工・物・環3学院や大学で実施している国際交流事業や、関連する講義等に 積極的に参加している学生は選考において考慮する ※但し、社会人学生は対象外	備考	次の場合は本プログラムの支援対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、 講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 本学との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、 他プログラムの活動の一部としての応募の場合 工・物・環学院合同学生国際交流プログラムとして 22番～25番合同で募集を行います
費用・奨学金	派遣（留学）経費の一部を支援。（ウェブサイトで詳細を要確認）	募集締切	第1回募集：12月締切　第2回募集：6月締切 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板等
人数	指定なし	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号：H-106 内線：3859　メール： ko.intl@adm.isct.ac.jp

26 物質理工学院学生交流プログラム

物質理工学院で交流協定を結んでいる大学・研究機関への派遣・留学

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

留学先	ジェノヴァ大学（イタリア）、ワルシャワ大学（ポーランド）、ヨンショーピン大学（スウェーデン）、ドイツ航空宇宙センター（ドイツ）、マックスプランク研究所（ドイツ）、イタリア学術会議 - 物質化学・エネルギー技術研究所（イタリア）、フランス国立航空宇宙研究所（フランス）、武漢理工大学（中国）、大連理工大学（中国）、他		
主な応募資格	● 物質理工学院の学生 ● 修士課程以上（一部学士課程学生）	期間	3か月～（2か月未満は応募不可）
費用・奨学金	別途、工・物・環学院合同学生国際交流プログラムに応募し、採択された場合は派遣経費の一部支援あり。不採択の場合でも、物質理工学院から一部支援が行われる場合がある。	募集締切	第1回募集：11月締切 第2回募集：5月締切
人数	各機関1名程度	問い合わせ先	物質理工学院国際担当 ： mct.intl@adm.isct.ac.jp

27 アーヘン工科大学博士課程学生共同指導プログラム

物質理工学院が学院単独で部局間協定を締結しているアーヘン工科大学電気工学・情報技術学部と学生を共同で指導するプログラム。参加学生は、博士課程中に自身の研究において両大学・両担当教員から指導を受けることができ、本学の学位審査に通った後は、本学からの学位に加え、アーヘン工科大学からプログラム修了証が授与される。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

留学先	アーヘン工科大学　電気工学・情報技術学部	期間	博士課程在籍中に原則6か月以上（通算でも可）
主な応募資格	物質理工学院所属の博士後期課程学生	備考	東京科学大学の学位に加えて、 アーヘン工科大学からプログラム修了証が授与される。
費用・奨学金	原則自己負担だが、物質理工学院から一部支援が行われる場合がある。	募集締切	原則、渡航開始4か月前の月末
人数	2名 / 年	問い合わせ先	物質理工学院国際担当 ： mct.intl@adm.isct.ac.jp

ダブルディグリー 本学と協定校の2つの学位取得を目指す方

28 東京科学大学・清華大学 大学院合同プログラム

中国の清華大学と東京科学大学の双方に修士課程学生として在籍し、両大学の教員の指導を受けながら研究を行い、両大学の修士号取得を目指すダブルディグリープログラム。修了に要する標準期間は本学学生で2年6ヵ月、清華大生で3年間。（清華大学への留学期間約1年間）。ナノテクノロジーコース、バイオコース、社会理工学コースの3コースから選択可能。（使用言語：中国語、日本語、英語）

こんな方にオススメ! 海外の大学で学位を取得したい!

http://www.ipo.titech.ac.jp/tsinghua/

留学先	中国・清華大学	期間	2年6ヶ月（留学期間約1年間）
主な応募資格	学士の学位を有していること（見込みを含む）	備考	●入学試験出願の際に本プログラムを志望し、 入試に合格する必要がある。 ●中国籍の学生は応募できない。 ●日本国籍以外の学生は事前に相談すること。
費用・奨学金	● JASSO海外留学支援制度　● トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム ● 中国政府奨学金　● その他奨学金等に応募資格あり ● 留学先学費：免除　● 往復渡航費：15万円程度 ● 留学先生活費：70万円～200万円程度 （中国政府奨学金の獲得状況により変化）	募集締切	2025年6月11日
人数	10名程度	問い合わせ先	【プログラムに関すること】 国際教育課（清華事務室）：tsinghua.program@adm.isct.ac.jp 【入試に関すること】入試課：inquiries.grad.se@adm.isct.ac.jp

29 L'École des Ponts ParisTech（ポンゼショセ）とのデュアルディグリープログラム

フランス L'École des Ponts ParisTechとの部局間協定に基づいた学習を修了し、最短３年間で双方の大学からそれぞれ修士号を取得する。（使用言語：フランス語）

こんな方にオススメ! 海外の大学で学位を取得したい!

留学先	L'École des Ponts ParisTech　（ポンゼショセ）	期間	3 年間（フランスにてフランス語研修（0.5 年）と L'École des Ponts ParisTech正規課程（1.5 年）の計2年間、 本学にて1年間）
主な応募資格	工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院所属の修士課程学生	備考	
費用・奨学金	ポンゼショセでの学費、保険加入料、住居費、その他生活費は自己負担。	募集締切	6 月（予定） ※修士課程入学前の学士課程4年次に応募となる
人数	数名	問い合わせ先	環境・社会理工学院 教授 千々和伸浩：chijiwa.n.2c82@m.isct.ac.jp

30 韓国科学技術院ー東京工業大学 ダブルディグリープログラム

韓国科学技術院（KAIST）との部局間協定に基づいた学習を修了し、標準2.5年間でKAISTからMaster of Science・本学から修士（工学）の学位を取得する。（使用言語：英語）

こんな方にオススメ! 海外の大学で学位を取得したい!

留学先	韓国科学技術院（KAIST）	期間	2.5年間（本学に1.5 年と韓国科学技術院正規課程に1年）
主な応募資格	工学院機械系・システム制御系に在籍中の修士課程学生もしくは進学予定の本学学部4年生（KAISTによる選考がある）。	備考	オンラインでの実施に切り替わる可能性なし （ただし渡航延期によるオンラインでの講義受講などはあり得る） コースオリエンテーションでプログラムの紹介を行う。
費用・奨学金	奨学金なし。ただし韓国科学技術院の学費は免除される。	募集締切	4月・10月（予定）
人数	若干名	問い合わせ先	kaist.eng@jim.titech.ac.jp

31 台湾国立陽明交通大学とのダブルディグリープログラム

台湾国立陽明交通大学との協定に基づいた学習を修了し、最短２年間で双方の大学からそれぞれ修士号を取得する。（使用言語：英語）

こんな方にオススメ! TSMCやMediaTeKなど台湾半導体産業の中心にある大学で学位を取得したい!

留学先	台湾国立陽明交通大学	期間	台湾国立陽明交通大学での滞在期間は最短1年間
主な応募資格	工学院電気電子系に進学予定の本学学士課程4年生 物質理工学院修士課程に進学予定の本学学士課程4年生 （台湾国立陽明交通大学が選考を行う）	備考	2024年度より物質理工学院の学生も応募可能となる。
費用・奨学金	台湾国立陽明交通大学の授業料免除及び奨学金等支給	募集締切	3月
人数	数名	問い合わせ先	工学院：inquiry@ee.e.titech.ac.jp 物質理工学院：mct.intl.adm@jim.titech.ac.jp

インターンシップ

海外でインターンシップをしたい方

32 IAESTE／理工系学生のための国際インターンシップ

IAESTEは、理工学系学生のための国際インターンシップ（最短８週間～最長52週間・海外企業又は海外の大学での現場研修）を仲介している国際非政府団体。広い国際的視野を有するエンジニアを養成することを目的として、これまでに国内外で約37万人の学生を相互交換している。詳細についてはWebサイトを参照。Science Tokyoからは例年２～５人程度の参加者がいる。

こんな方にオススメ! 海外でインターンシップをしたい

http://www.iaeste.or.jp/

派遣先	IAESTE加盟国（約80カ国）	期間	8週間～52週間（夏期2～3ヶ月が一般的）
主な応募資格	●研修開始時に、日本の大学の学士課程3年生以上及び大学院課程に在籍している者 ●国籍不問	備考	
費用・奨学金	研修先より滞在費支給 参加費 55,000円、渡航費、ビザ取得費、海外旅行保険費等は 自己負担	募集締切	派遣前年度の9月中旬（本募集） 派遣年度の4月中旬（追加募集）
人数	定員なし	問い合わせ先	IAESTE事務局：outbound@adm.isct.ac.jp

33 ヴルカヌス・イン・ヨーロッパプログラム

日本の理工系学生を対象に１年間 EU 加盟国で研修を行うプログラムです。語学研修と企業研修（インターンシップ）で構成されており、語学研修では、企業研修で使用する言語の習得をめざし、企業研修に臨みます。

こんな方にオススメ! 海外でインターンシップをしたい

https://www.eu-japan.eu/ja/training-young-scientists-engineers-vine

派遣先	EU加盟国企業	期間	1年間（4月～翌3月まで）
主な応募資格	応募時点で、日本の大学において理工学系の学士課程3～4年生、 大学院に在学している者。日本国籍保持者。英語要件あり。	備考	主催団体に直接応募。
費用・奨学金	日本出発時に80万円、現地にて1,000ユーロ程度／月支給。（年度ごと変動あり） 欧州セミナー受講料、語学研修中の授業料および ホームステイ代（寮費）は日欧産業協力センターが負担。	募集締切	前年度9月下旬
人数	20名程度（2025年度）	問い合わせ先	一般社団法人 日欧産業協力センター VinE@eu-japan.gr.jp

留学と就職活動について

キャリア
アドバイザー
守島利子
マネジメント教授

留学に行ってみたいけれども、日本でインターンシップや就職活動があり、留学と就活を両立できるのか、ということで迷われる人は結構多いでしょう。ただ、スケジュールをきちんと押さえて、ある程度の準備をして臨むことで、留学と就職活動を両立した本学の先輩はたくさんいます。

■ 企業は留学経験者をどのように思うのか

就職はその企業に自分が入りたいという気持ちだけでは成立しません。企業の人がその人を採用したいと思わなければ入社は叶わないのです。では、企業は留学経験者をどのように思うのでしょうか?企業が留学経験者を採用する理由ということで、「優秀な人材の確保のため」ということが回答の約8割というデータがあります。何をもって優秀とするのかは、例えば、海外の知らない場所で母国語とは違う言語で授業や研究内容を理解して修得する、これは優秀でないと難しいことです。また、そういう学問や知識に関することだけではなく、留学に行っていない学生と比べて、主体性、実行力、柔軟性などがあるということも高く評価しています。ちなみに、これらの力は経済産業省が提唱した「社会人基礎力」（社会の中で活躍し続けるために求められる力）の中でも、企業が採用選考時に重視する力として上位に挙げられているものです。ある程度、長期の留学となると留年ということもありますが、これに関しても「特に気にしない」としている企業が7割以上あります。また、各企業はグローバルなビジネス展開をしており、世界で活躍できる人材を求めています。もう一歩進んで「ダイバーシティ&インクルージョン」（多様性を受け入れて個性を認め一体となって働くこと）を掲げている企業もあり、これを理解でき実践できることに留学経験は大きく影響するものだと思われます。

■ 本学留学経験者の企業へのアピールポイント

文部科学省の「日本人の海外留学生数」のデータによると、コロナ禍前の2019年の留学者数は約11万人で、大学在学者の3.8%であり、そのうち1か月以上の留学経験者は1.2%です。皆さんは、この数値をどう見るでしょうか? 文系学生も含めた全学生のデータであり、理工系学生だけで捉えると、もっと割合は少なくなります。留学に行く人が少ないので不安を感じるかもしれません。しかし、得るものも多くあります。希少な経験であり、他の学生との差別化に繋がることにもなります。しかし、ただ留学すれば良いというのではなく、そこでの経験や学びが問われます。ようやく現地に慣れてきた頃だったり、語学研修だけでなんとなく感覚がつかめてきた頃に帰ってくるとなると、就活の場ではあまり評価はされないないでしょう。日本人がいない環境で語学・学問に集中するとか、他国の人と一緒に行動をして、その人たちの考え方、その背景にある文化を知ったりなど、ダイバーシティ&インクルージョンを体感するくらいであってほしいと思います。留学経験で「問われるのは質」。これは特に意識してください。

理工系の専門力
理工系の基礎力
＋
実践的語学力

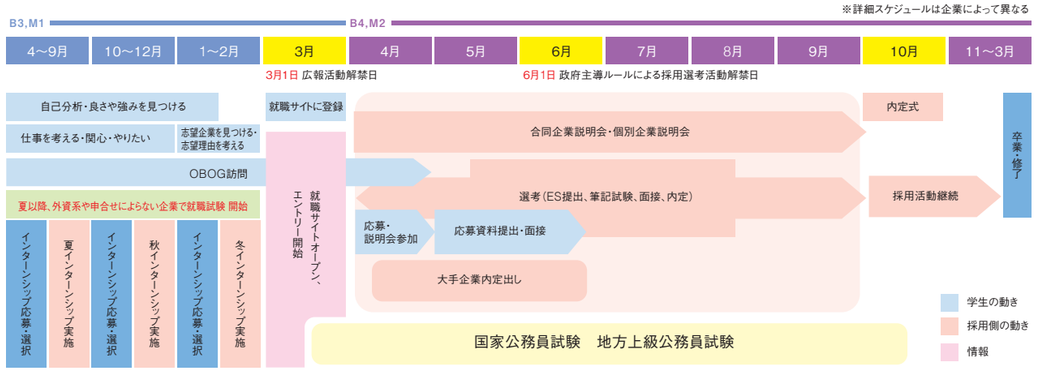
● 挑戦力 ● 主体性 ● 行動力 ● 問題解決能力
● 柔軟性 ● 異文化理解・適応力 ● 多様性の理解
● （異文化）コミュニケーション力 ● 海外ネットワーク（人脈） など

POINT 問われるのは留学の「質」
⇓
異文化の中で様々な苦労を乗り越えたかどうか、
そして何かを徹底して勉強（経験）したか
「世界を舞台に活躍できる見込みがあるのか」
が判断される

■ 就職活動に関わるスケジュール

日本政府が企業に要請している就職に関するスケジュールです。これは2026年3月卒業・修了の学生まで適用されます。
それ以降に関しては、今後の発表に注意してください。キャリアアドバイザー主催のガイダンス等でもお知らせします。

※詳細スケジュールは企業によって異なる



留学と就職活動の時期が重なるのであれば、その前に業界や企業研究をしておいたり、低学年対象のインターンシップもあるので、そういうものを活用することもできます。また、今はネットを使って企業にエントリーしたり、ウェブサイトから企業研究をすることもでき、面接もオンラインという企業が多いので、海外から就職試験を受けることも可能となっています。留学、就職活動に関して悩んだり困ったりしたら、是非、キャリアアドバイザールームに相談にいらしてください。

https://www.titech.ac.jp/student-support/students/career/counseling

結論

- 留学と就職活動を両立させるのは、やり方次第で十分に可能。
- 留学による1年程度の遅れは、長いキャリアの中では大きな問題ではない。大学の留学プログラムを効果的に活用しよう。
- 実践的な語学力アップの他、主体性・行動力・柔軟性等が養われ、広い視野を持ち、海外人脈を築くことも可能。社会に出てからも必要なことが身につく。
- 留学への挑戦や、現地での問題解決、異文化コミュニケーションと多様性の理解等を経験することは、これからの（職業）キャリアに有益。
- 企業でのグローバルな活躍が期待される今、「理工系＋良質な海外経験」は、就職活動でもかなりの強みとなる。

派遣交換留学

派遣交換留学とは

東京科学大学と授業料等不徴収協定を結んでいる海外の大学（協定校）が１学期～1年間学生を交換する留学プログラムです。現地の大学では自身の専攻に応じた授業履修・研究、課外活動を通じて様々な経験ができます。本プログラムに参加する学生は将来のキャリアを見据えて計画立案から実行、振り返りまでを丁寧に行うことで、グローバルに活躍できる人材になることを目指します。

問い合わせ先 | 国際教育課
Taki Plaza B1F
E-mail hakenryugaku@jim.titech.ac.jp

派遣交換留学のポイント

● 世界トップレベルの大学への留学
東京科学大学の協定校は世界的にも評価の高い教育機関です。事前に多くの情報が得られやすく、現地でのサポートも充実しています。

● 交換留学生として優遇
現地語の授業を無料で受講できたり、交換留学生として協定校からのサポートが多く受けられます。

● プログラム付属で返済不要の奨学金に申請可能
支給額や支給可能人数は年度・地域によって変動しますが、大学推薦を得ることで、各種民間財団や協定校が提供する奨学金にも応募が可能です。

● 留学先の協定校では授業料の支払い不要
留学期間中の身分は「休学」ではなく「留学」となるため、在籍年限に含まれ、留学先の授業料は不要です。

● 留学で取得した単位は本学の単位として認定可能

応募条件

- 応募時・留学中・留学終了時に、本学正規課程に在籍する学生（私費留学生も応募可）
- 協定校が定める交換留学生の資格・条件を満たすもの（語学要件・GPA・所属学院・学年等）
- 語学要件が英語のみの場合の学内最低基準：**TOEFL-iBT 60 / IELTS 5.5 / TOEFL ITP 497**

募集人数

全73の協定校へ、合計約200名が留学可能

留学までの道のり

学内選考に向けた準備　p.9「留学の準備」も参照ください!

	出発の１年半 ～ １年前			
To Do リスト	●「留学」を本格的に検討 ●留学コンシェルジュの活用 ☑計画の立て方 ☑留学先の決め方 ☑奨学金について	●留学の具体化に向けた計画案の作成 ●留学期間も含めた学修計画全体を指導教員等と相談	●留学関連イベントへの参加 ☑留学フェア（毎年春に開催） ☑留学報告会や座談会（随時開催） ☑募集説明会（毎年夏頃開催） ☑各国大使館等の外部主催イベント	●応募書類の準備 ☑英文エッセイの作成 ☑面接対策 ●語学スコアの取得
語学力強化	●English Café へ参加	●学内語学集中講座の受講（夏期・春期開講）		
	継続して強化（各種語学試験の準備、受験）			

学内選考

学内選考通過してから、渡航までの準備

出発８か月前	出発６か月前	出発３か月前	出発３か月～１か月前
●大学推薦/個人応募の奨学金へ応募 ●協定校への出願準備 ☑CVやMotivation letterの作成	●協定校への出願	●協定校から受入許可書受領 ●渡航前オリエンテーションへの参加 ●滞在先の確保 ●Visa等の準備	●渡航前の学内手続 ●海外旅行保険加入 ●航空券の手配等
●English Café へ参加	●学内語学集中講座の受講（夏期・春期開講）		
英語だけでなくドイツ語やフランス語など、留学先の現地語の授業への参加			

出発！

募集選考スケジュール

募集回	対象出発時期	学内応募締切	面接時期
秋出発本募集	2026年7月-12月	2025年　9月	2025年 10月
秋出発追加１次募集		2025年 12月	2026年　1月
秋出発追加２次募集		2026年　4月	2026年　4月
春出発本募集	2027年1月-6月	2026年　5月	2026年　6月
春出発追加募集		2026年　6月	2026年　7月

¥ 参考情報　留学中にかかる費用の目安（2023年-24年派遣・期間６か月）

※ 為替や世界情勢、生活スタイル等でかかる費用は大きく変わります。

アジアに留学する場合

- 渡航費：10-15万円
- 住居費：5-7万円/月
- 生活費：3-6万円/月
- その他：2-7万円/月

合計金額 約50-70万円

ヨーロッパに留学する場合

- 渡航費：20-30万円
- 住居費：8-13万円/月
- 生活費：10-15万円/月
- その他：10-15万円/月

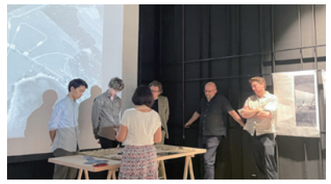
合計金額 約150-200万円

※【その他】には各種保険、ビザに関する費用、教科書代等が含まれます。

ウィーン工科大学に留学中の渡邊さんからのお便り

渡邊 修 さん
環境・社会理工学院建築学系
建築学コース 修士3年

私は現在オーストリアのウィーン工科大学に一年間の留学中で、大学では専攻としている建築学の授業を取りながら、色々な都市を訪れて様々な建築物に触れることで、建築について見聞を広めています。ウィーンはヨーロッパのちょうど中央に位置し、人も文化も流動的であることから、授業の議論では多角的な意見が飛び合うだけでなく、日本で生まれ育った私にとっては友人との日常会話においても新しい発見の連続で、毎日が非常に刺激的です。留学前、ウィーンに対して音楽が有名な古典的な街という認識がありましたが、人口増加に対応すべく公営住宅の建設が各地で進んでいるだけでなく、芸術文化に対する寛容な姿勢から生まれる展示空間の豊かさがあるなど、将来建築設計に携わりたいと考えている私にとって、ウィーンは想像以上に建築的な魅力が溢れる街だと感じています。最近では、ウィーンという都市だけでなく、ウィーンで活動する建築家の思想にも興味が広がり、インタビューを進めるなど、残り少ない留学期間を有意義なものにすべく、忙しい日々を過ごしています。



スタジオでの様子

ウィーンの風景

派遣交換留学対象校一覧

英語の学内要件について

S:TOEFL iBT75 / IELTS 6.0以上
A:TOEFL iBT65 / IELTS 6.0以上
B:TOEFL iBT60 / IELTS5.5以上

※ 各協定校の派遣先要件および募集人数についてはホームページに掲載の「派遣交換留学対象校一覧」から最新情報を確認すること。

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/tuitionwaiver

アイコンの見方
語学要件　学業要件
出願先（専攻）の制限あり

オーストラリア／Australia

メルボルン大学
The University of Melbourne

アカデミックカレンダー
Semester 2: 7月～11月
Semester 1: 2月～6月

派遣先要件有
学業成績平均70/100以上
出願可能な学部に制限有

募集人数　5人（2025年度）
※募集人数は毎年変更あり

中国／China

西安交通大学
Xi'an Jiaotong University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～2月
Spring semester: 3月～7月

派遣先要件有：英語・中国語

募集人数　3人

中国／China

清華大学
Tsinghua University

アカデミックカレンダー
Autumn semester: 9月～1月
Spring semester: 2月～6月

学内要件B / 派遣先要件有：中国語

募集人数　2人

中国／China

大連理工大学
Dalian University of Technology

アカデミックカレンダー
Autumn semester: 9月～1月
Spring semester: 3月～7月

派遣先要件有：英語・中国語
GPA要件有

募集人数　2人

中国／China

浙江大学
Zhejiang University

アカデミックカレンダー
Autumn/winter: 9月～1月
Spring/summer: 2月～6月

学内要件B / 派遣先要件有：中国語

募集人数　3人

中国／China

中国科学技術大学
University of Science and Technology of China

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～1月
Spring semester: 2月～6月

派遣先要件有：英語　GPA要件有
専攻の制限有 / 1セメスターのみ / 留学時学士3・4年のみ

募集人数　2人

中国／China

同济大学
Tongji University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～1月
Spring semester: 2月～7月

派遣先要件有：英語・中国語
GPA要件有

募集人数　2人

中国／China

上海交通大学
Shanghai Jiao Tong University

アカデミックカレンダー
Autumn semester 9～1月
Spring semester 2月～6月

派遣先要件有：英語・中国語
GPA要件有　出願先制限有

募集人数　2人

中国／China

香港科技大学
The Hong Kong University of Science and Technology

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～12月
Spring semester: 2月～5月

学内要件S
出願可能な学部に制限有

募集人数　2人

韓国／Korea

漢陽大学
Hanyang University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～12月
Spring semester: 3月～6月

派遣先要件有：英語・韓国語
GPA要件有　履修制限有

募集人数　3人

韓国／Korea

延世大学
Yonsei University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～12月
Spring semester: 3月～6月

派遣先要件有：英語・韓国語
GPA要件有

募集人数　3人

※上記は本てびき作成時の情報です。最新の情報についてはウェブサイトや「派遣交換留学対象校一覧」から確認願います。

韓国／Korea

韓国科学技術院
KAIST/Korea Advanced Institute of Science and Technology

アカデミックカレンダー
Fall Semester: 8月末/9月初旬～12月
Spring Semester: 2月～6月

派遣先要件有：英語
GPA要件有

募集人数　4人

韓国／Korea

ポーハン科学技術大学
Pohang University of Science and Technology

アカデミックカレンダー
Fall session: 9月～12月
Spring session: 2月～6月

派遣先要件有：英語
GPA要件有

募集人数　3人

韓国／Korea

ソウル国立大学
Seoul National University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～12月
Spring semester: 3月～6月

学内要件S
GPA要件有
出願可能な専攻に制限有

募集人数　2人（2025年度）
※募集人数は毎年変更あり

韓国／Korea

高麗大学
Korea University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～12月
Spring semester: 3月～6月

学内要件B
GPA要件有
出願先制限有

募集人数　2人

台湾／Taiwan

国立清華大学
National Tsing Hua University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～12月
Spring semester: 2月～6月

学内要件B / 派遣先要件有：英語

募集人数　3人

台湾／Taiwan

国立中央大学
National Central University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～1月
Spring semester: 2月～6月

学内要件B

募集人数　3人

台湾／Taiwan

国立台湾大学
National Taiwan University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 8月～12月
Spring semester: 2月～6月

派遣先要件有：英語・中国語
GPA要件有
出願可能な学部に制限あり

募集人数　3人

台湾／Taiwan

国立陽明交通大学
National Yang Ming Chiao Tung University

アカデミックカレンダー
Fall semester: 9月～1月
Spring semester: 2月～6月

学内要件B

募集人数　2人

フィリピン／Philippines

デラサール大学
De La Salle University

アカデミックカレンダー
Term 1: 8月末/9月初旬～12月
Term 2: 1月～4月
Term 3: 5月～8月

派遣先要件有：英語
GPA要件有

募集人数　2人

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/tuitionwaiver

フィリピン／Philippines

フィリピン大学ディリマン校
University of the Philippines, Diliman

アカデミックカレンダー

First semester: 9月～1月

Second semester: 2月～6月

学内要件B

募集人数　2人

インドネシア／Indonesia

インドネシア大学
Universitas Indonesia

アカデミックカレンダー

Semester 1: 8月～1月

Semester 2: 2月～6月

派遣先要件有：英語
出願先の専攻によって要件が異なる

GPA要件有

募集人数　3人

インドネシア／Indonesia

バンドン工科大学
Institut Teknologi Bandung

アカデミックカレンダー

Semester Ⅰ: 9月～1月

Semester Ⅱ: 2月～6月

派遣先要件有：英語

募集人数　5人

インドネシア／Indonesia

ガジャマダ大学
Universitas Gadjah Mada

アカデミックカレンダー

Odd semester: 8月～12月

Even semester: 2月～6月

派遣先要件有：英語

募集人数　2人

タイ／Thailand

チュラーロンコーン大学
Chulalongkorn University

アカデミックカレンダー

Fall semester: 8月～12月

Spring semester: 1月～5月

※一部3学期制の学部有

派遣先要件有：英語

GPA要件有

募集人数　3人

タイ／Thailand

カセサート大学
Kasetsart University

アカデミックカレンダー

First semester: 8月～12月

Second semester: 1月～5月

学内要件B

GPA要件有

募集人数　3人

タイ／Thailand

タマサート大学
Thammasat University

アカデミックカレンダー

First semester: 8月～12月

Second semester: 1月～5月

派遣先要件有：英語
（出願先の専攻によって要件が異なる）

GPA要件有

募集人数　5人

タイ／Thailand

キングモンクット工科大学ラカバン校
King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang

アカデミックカレンダー

First semester: 7月～12月

Second semester: 11月～4月

学内要件B

募集人数　3人

タイ／Thailand

キングモンクット工科大学トンブリ校
King Mongkut's University of Technology Thonburi

アカデミックカレンダー

Semester 1: 8月～11月

Semester 2: 1月～5月

Semester 3: 6月～8月

派遣先要件有：英語

募集人数　2人

※上記は本てびき作成時の情報です。最新の情報についてはウェブサイトや「派遣交換留学対象校一覧」から確認願います。

タイ／Thailanda

アジア工科大学院
Asian Institute of Technology

アカデミックカレンダー

First semester: 8月～12月

Second semester: 1月～5月

学内要件B

募集人数　1人（2025年度）
※募集人数は毎年変更あり

シンガポール／Singapore

シンガポール国立大学
National University of Singapore

アカデミックカレンダー

Semester 1: 8月～12月

Semester 2: 1月～5月

学内要件S

GPA要件有

出願可能な学部に制限有

募集人数　4人（2025年度）
※募集人数は毎年変更あり

シンガポール／Singapore

南洋理工大学
Nanyang Technological University

アカデミックカレンダー

Semester 1 (Fall): 8月～12月

Semester 2 (Spring): 1月～5月

派遣先要件有：英語

GPA要件有

出願可能な学部に制限有

募集人数
Fall:3人　Spring:3人（2025年度）
※募集人数は毎年変更あり

ベトナム／Vietnam

ハノイ工科大学
Hanoi University of Science and Technology

アカデミックカレンダー

Autumn semester: 8月～1月

Spring semester: 1月～6月

学内要件B / 派遣先要件有：英語

GPA要件有

募集人数　2人

インド／India

インド工科大学マドラス校
Indian Institute of Technology Madras

アカデミックカレンダー

Semester 1: 7月～12月

Semester 2: 1月～5月

学内要件B

出願可能な学部に制限有

募集人数　2人

トルコ／Turkey

中東工科大学
Middle East Technical University

アカデミックカレンダー

Fall semester: 9月～1月

Spring semester: 2月～6月

学内要件A

募集人数　3人

トルコ／Turkey

イスタンブール工科大学
Istanbul Technical University

アカデミックカレンダー

Fall semester: 9月～1月

Spring semester: 2月～6月

派遣先要件有：英語

GPA要件有

募集人数　2人

トルコ／Turkey

ボアージチ大学
Bogazici University

アカデミックカレンダー

Fall Semester：9月～1月

Spring Semester：2月～6月

派遣先要件有：英語

募集人数　2人

カナダ／Canada

モントリオール理工科大学
Polytechnique Montréal

アカデミックカレンダー

Fall semseter: 8月～12月

Winter semester: 1月～5月

派遣先要件有

GPA要件有

授業履修は秋学期のみ

募集人数　2人
（リサーチインターンシッププログラム含む）

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/tuitionwaiver

カナダ／Canada

ウォータールー大学
University of Waterloo

アカデミックカレンダー
- Fall term: 8月～12月
- Winter term: 1月～4月
- Spring term: 5月～8月

派遣先語学要件有
※出願時の専攻によってはGREが必要
学業成績要件有
出願可能な学部に制限有

募集人数　2人（2025年度）
※募集人数は毎年変更あり

※留学可能期間は上記 3 termのうち、1 or 2 termのみ

アメリカ合衆国／U.S.A

ジョージア工科大学
Georgia Institute of Technology

アカデミックカレンダー
- Fall semester: 8月～12月
- Spring semester: 1月～5月

派遣先語学要件有
※修士以上の学生は出願時GREが必須
修士課程の学生は出願スケジュールが異なるためよく確認すること

募集人数　10セメスター（2025年度）
※募集人数は毎年変更あり

アメリカ合衆国／U.S.A

ワシントン大学
University of Washington

アカデミックカレンダー
- Autumn quarter: 9月～12月
- Winter quarter: 1月～3月
- Spring quarter: 3月下旬～6月

派遣先語学要件有
GPA要件有
履修可能な授業に制限有 /
修士課程の学生は応募不可

募集人数　3人（2025年度）
※募集人数は毎年変更あり

フィンランド／Finland

アアルト大学
Aalto University

アカデミックカレンダー
- Autumn term: 8月～12月
- Spring term: 1月～6月

学内要件A / 派遣先要件有：英語
（出願先の専攻によって語学要件が異なる）
出願可能な学部に制限有

募集人数　5人
※School of Arts、Design and Architecture は1名のみ推薦可

フィンランド／Finland

ラッペンランタ-ラハティ工科大学
Lappeenranta-Lahti University of Technology

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 8月～12月
- Spring semester: 1月～5月末/6月初旬

派遣先要件有：英語

募集人数　2人

スウェーデン／Sweden

スウェーデン王立工科大学
KTH/Royal Institute of Technology

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 8月～1月
- Spring semester: 1月～6月

学内要件A

募集人数　5人

スウェーデン／Sweden

シャルマーズ工科大学
Chalmers University of Technology

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 9月～1月
- Spring semester: 1月～6月

学内要件A

募集人数　3人

スウェーデン／Sweden

リンシェーピン大学
Linköping University

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 8月～1月
- Spring semester: 1月～6月

学内要件A

募集人数　3人

スウェーデン／Sweden

ウプサラ大学
Uppsala University

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 8月末/9月初旬～1月
- Spring semester: 1月～6月

学内要件A

募集人数　3人

※上記は本てびき作成時の情報です。最新の情報についてはウェブサイトや「派遣交換留学対象校一覧」から確認願います。

ノルウェー／Norway

ノルウェー工科・自然科学大学
Norwegian University of Science and Technology

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 8月～12月
- Spring semester: 1月～6月

派遣先要件有：英語

募集人数　3人
※Faculty of Architecture and Fine Artsは修士以上の学生のみ、かつ1名のみ推薦可

デンマーク／Denmark

デンマーク工科大学
Technical University of Denmark

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 9月～12月末/1月初旬
- Spring semester: 2月～6月

学内要件A

募集人数　2人

イギリス／U.K.

ストラスクライド大学
University of Strathclyde

アカデミックカレンダー
- Semester 1: 9月～12月
- Semester 2: 1月～5月

派遣先要件有
※6ヵ月以内の滞在の場合、ビザ発行の英語要件は不要
※複数の学科にてグループプロジェクトの講義（PBL型教育）を受講可
履修可能な科目に制限有

募集人数　5人

イギリス／U.K.

ヨーク大学
University of York

アカデミックカレンダー
- Semester 1: 9月～1月末
- Semester 2: 2月～6月

派遣先要件有
（出願先の専攻によって異なる）
GPA要件有
出願可能な学部に制限有

募集人数　3人

ベルギー／Belgium

ゲント大学
Ghent University

アカデミックカレンダー
- First semester: 9月～1月
- Second semester: 2月～7月

派遣先要件有：英語
出願可能な学部に制限有

募集人数　2人

オランダ／Netherlands

デルフト工科大学
Delft University of Technology

アカデミックカレンダー
- First semester: 9月～1月
- Second semester: 2月～8月

派遣先要件有：英語
出願可能な学部に制限有

募集人数　最大7人（2025年度）
※原則各Faculty1名のみ
※募集人数は毎年変更あり

ドイツ／Germany

ミュンヘン工科大学
Technical University of Munich

アカデミックカレンダー
- Winter semester: 10月～3月
- Summer semester: 4月～9月

学内要件A /
派遣先要件有：ドイツ語

募集人数　4人

ドイツ／Germany

シュツットガルト大学
University of Stuttgart

アカデミックカレンダー
- Winter semester: 10月～3月
- Summer semester: 4月～9月

派遣先要件有：英語・ドイツ語

募集人数　5人

ドイツ／Germany

ハノーバー大学
Leibniz Universität Hannover

アカデミックカレンダー
- Winter semester: 10月～3月
- Summer semester: 4月～9月

学内要件A

募集人数　3人

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/tuitionwaiver

ドイツ／Germany

アーヘン工科大学
RWTH Aachen University

アカデミックカレンダー
- Winter semester: 10月～3月
- Summer semester: 4月～9月

学内要件A /
派遣先要件有：ドイツ語

募集人数　5人

ドイツ／Germany

ベルリン工科大学
Technische Universität Berlin

アカデミックカレンダー
- Winter semester: 10月～3月
- Summer semester: 4月～9月

派遣先要件有：英語・ドイツ語

募集人数　3人

フランス／France

アール・ゼ・メティエ
ENSAM / Ecole Nationale Supérieure d'Arts et Metiers

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 9月～1月
- Spring semester: 2月～6月

派遣要件有：英語・フランス語

Engineeringは学部4年以上が応募可

募集人数　3人

フランス／France

エコール・デ・ミンヌ・ド・パリ
Ecole Nationale Supérieure des Mines de Paris

アカデミックカレンダー
- Fall semester: 9月～1月末/2月初旬
- Spring semester: 2月～5月

※インターンシップによる延長も可

派遣先要件有：フランス語
※学士課程4年生以上出願可
※春学期留学希望者も秋出発の選考会で応募のこと

募集人数　3人

フランス／France

ストラスブール大学
Université de Strasbourg

アカデミックカレンダー
- First semester: 9月～1月
- Second semester: 1月～6月

派遣先要件有：フランス語
（出願先の専攻によって異なる）

募集人数　3人

フランス／France

レンヌ大学
University of Rennes 1

アカデミックカレンダー
- First semester: 9月～12月
- Second semester: 1月～5月

学内要件A /
派遣先要件有：フランス語
※春学期留学希望者も秋出発の選考会で応募のこと

募集人数　5人

フランス／France

パリ建築大学ヴィレット校
Ecole d'Architecture de Paris la Villette

アカデミックカレンダー
- First semester: 9月～1月
- Second semester: 2月～7月

派遣先要件有：フランス語

建築学系に所属の学生のみ応募可

募集人数　2人

フランス／France

ポン・ゼ・ショセ
École Nationale des Ponts et Chaussées

アカデミックカレンダー
- Fall semester: 9月～2月
- Spring semester：2月～6月

派遣先要件有：フランス語・英語

募集人数　2人

フランス／France

エコール・ポリテクニーク
École Polytechnique

アカデミックカレンダー
- 所属課程・所属年次によって異なる。

学内要件S /
派遣先要件有：フランス語

GPA要件有
※春学期留学希望者も秋出発の選考会で応募のこと

募集人数　2人

※上記は本てびき作成時の情報です。最新の情報についてはウェブサイトや「派遣交換留学対象校一覧」から確認願います。

フランス／France

グルノーブル工科大学
Grenoble Institute of Engineering

アカデミックカレンダー
- Fall semester: 9月～12月末/1月初旬
- Spring semester:
1月末/2月初旬～5月末/6月初旬

学内要件A /
派遣先要件有：フランス語

募集人数　2人

イタリア／Italy

ボローニャ大学
University of Bologna

アカデミックカレンダー
- Autumn Semester 1: 9月～1月
- Spring Semester 2: 2月～7月

学内要件A

募集人数　2人

イタリア／Italy

ミラノ工科大学
Politecnico di Milano

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 9月～1月末/2月初旬
- Spring semester: 2月～6月末/7月初旬

学内要件A

留学期間に制限あり

募集人数　3人（各School 1名ずつ）
※School of Architecture Urban Planning および、School of Designは、1セメスターのみ留学可（年間不可）

スイス／Switzerland

スイス連邦工科大学チューリッヒ校
ETH Zurich / Swiss Federal Institute of Technology

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 9月～1月
- Spring semester: 2月～6月

学内要件S /
派遣先要件有：ドイツ語

専攻ごとに出願の要件有

募集人数　7人（2025年度実績）
※募集人数は毎年変動あり

スイス／Switzerland

スイス連邦工科大学ローザンヌ校
Ecole Polytechnique Federale de Lausanne (EPFL)

アカデミックカレンダー
- Fall semester: 9月～2月
- Spring semester: 2月～7月

学内要件S /
派遣先要件有：フランス語

専攻ごとに履修制限有
建築学部への応募不可

募集人数　3人

スイス／Switzerland

チューリッヒ大学
University of Zurich

アカデミックカレンダー
- Fall semester: 8月～1月
- Spring semester: 2月～7月

派遣先要件有：英語・ドイツ語

募集人数　3人

スイス／Switzerland

ジュネーブ大学
University of Geneva

アカデミックカレンダー
- Fall semester: 9月～2月
- Spring semester: 2月～6月

学内要件S /
派遣先要件有：フランス語

出願可能な学部に制限有

募集人数　3人

オーストリア／Austria

ウィーン工科大学
TU Wien

アカデミックカレンダー
- Winter semester: 10月～1月末/2月初旬
- Summer semester: 3月～6月

派遣先要件有：英語・ドイツ語

留学時大学院生のみ応募可能
研究室への所属を推奨する

募集人数　2人

スペイン／Spain

バスク大学
University of the Basque Country

アカデミックカレンダー
- Autumn semester: 9月～1月
- Spring semester: 1月～6月末/7月初旬

派遣先要件有：英語

年間留学を希望する場合は秋出発の選考会で応募すること

募集人数　2人

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/tuitionwaiver

留学奨学金情報

独立行政法人日本学生支援機構、各民間財団、日本の都道府県や市区町村、留学先の政府などが、海外留学する学生に奨学金を提供しています。留学費用が心配という方は経済的な理由で留学を諦める前に、奨学金で留学できる道がないか探してみることをお勧めします。

奨学金に関する詳細及び最新情報はこちら：https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/scholarships

本学に在籍しながら留学する学生向けの奨学金

本学に在籍しながら留学する学生が応募できる奨学金については、大学を通じて応募するものと個人応募のものに分類されます。また、本学の留学プログラムであれば、奨学金が付帯されているものも多数あります。詳しくは、国際教育課までお問い合わせいただくほか、上記ウェブサイトをご覧ください。

学位取得留学する学生を支援する奨学金

本学を卒業後、海外大学の修士課程 / 博士課程に学位取得を目的に長期留学する学生に対して、各民間財団が提供する奨学金です。ここでは本学を通して応募する奨学金を紹介します。

1 吉田育英会 日本人派遣留学プログラム

web https://www.ysf.or.jp/scholarship/visitor/universal/overseas.php

留学先	海外の大学院等	期間	2年間（博士課程への留学の場合 1年以内の延長を認める場合あり）
主な応募資格	▶学士課程最終学年の者、大学院課程学生、本学教職員　▶日本国籍を有する者 ▶留学先で支障なく勉学・調査・研究を行う語学力のある者 英語圏／専攻分野が理系の場合：iBT88点、IELTS6.5、専攻分野が文系の場合：iBT100点、IELTS7.0以上 英語圏以外／当該国の言語を主に研究に使用する場合はZD（ドイツ語）・DAPF（フランス語）等の試験を予め受験すること		
奨学金	2025年度派遣募集要項： ▶生活滞在費 月額2500米ドル ▶授業料または研究費 奨学期間内に合計250万円以内 ▶往復渡航費	募集締切	前年度8月頃
人数	5名程度［本学推薦枠：2名］	問い合わせ先	国際教育課

2 竹中育英会 海外留学奨学生

web https://www.takenaka-ikueikai.or.jp/recruitment.html

留学先	海外の大学院等	期間	原則として修士2年、博士3年以内 （修士・博士号合わせて原則5年以内）
主な応募資格	▶学士課程最終学年の者、大学院課程学生　▶日本国籍を有する者 ▶大学における学業成績が本会の基準を満たし、更に学業の発展向上が期待できる者 ▶留学先での研究に十分な語学力を有していること［TOEFL iBT 88点（ITP 570点）以上、IELTS 6.5以上］の 英語コミュニケーション能力を有する者。または、留学先に受け入れ基準がある場合はそれを満たしていること ▶自然科学及びその応用分野を専攻する者		
奨学金	2025年度派遣募集要項： ▶授業料等大学納付金として250万円を上限とする実費 ▶滞在費・渡航費等に充当するものとして 年額200万円を上限とする費用	募集締切	前年度8月頃
人数	3～5名程度［本学推薦枠：2名］	問い合わせ先	国際教育課

3 KDDI財団 日本人留学生助成 ※医歯学系の学生も対象

web https://www.kddi-foundation.or.jp/support/japanese/

留学先	海外の大学院等	期間	最長2年間
主な応募資格	▶大学院課程学生　▶日本国籍を有する者（在日外国人、二重国籍、日本永住権を有する者は応募不可）　▶35歳以下 ▶法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野において、国際的視野に立ち、社会に貢献するテーマで研究に取り組んでいる者 ※情報通信分野の進歩、発展に貢献するものを優先		
奨学金	2025年度派遣募集要項：月額25万円	募集締切	前年度8月頃
人数	4名程度［本学推薦枠：5名］	問い合わせ先	国際教育課

4 経団連国際教育交流財団 日本人大学院生奨学生

web http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/ishizaka/#ishizaka

留学先	海外の大学院等	期間	最長2年
主な応募資格	▶大学院課程学生（研究生は応募不可）▶日本国民 ▶在学期間が修士・博士両課程通算満5年以内の者 ▶広く社会に貢献し、将来アカデミアの世界で、研究者として活躍する意思を持つ者 ▶英語圏へ留学希望の場合、TOEFLの成績がiBT92点以上もしくはIELTSの成績が6.5以上であること ▶英語圏以外へ留学希望の場合、当該国の公用語を主に研究に使用する場合、ZD（ドイツ語）・DAPF（フランス語）等の試験を予め受験していること		
奨学金	2025年度派遣募集要項： 年間350万円を一律支給（使途は留学先の学費、生活費等、留学に関わる支出に限る）	募集締切	前年度8月頃
人数	2名［本学推薦枠：制限なし］	問い合わせ先	国際教育課

5 日本学生支援機構海外留学支援制度（大学院学位取得型）

web https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/scholarships#anchor01-05

留学先	海外の大学院	期間	修士の学位取得を目的：2年以内　博士の学位取得を目的：原則3年以内 ※単年度毎に奨学金及び授業料支給。奨学金継続の可否は年度毎に行う。
主な応募資格	▶学士課程最終学年の者、大学院課程学生、卒業生　▶既に留学を開始している者も応募可　※卒業生については個人でJASSOに直接応募 ▶日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者 ▶語学能力が次の水準以上である者①TOEFL iBT95点又はIELTS6.5（Academic Module）以上 ②留学先大学が求める語学能力が上記①以上である場合は、留学先大学が求める語学能力以上 ※ 留学先大学での主たる使用言語が英語以外の者は別規定。 ▶大学学部以後の直近の学業成績：総在籍期間における累積GPAが3.00（最高値を4.00とした場合）以上		
奨学金	2025年度派遣募集要項： ▶月額15万円～35万円を予定 ※留学先地域により支給金額は異なる。 新規採用者に対し、支援開始時に 渡航支援金16万円を支給する ▶授業料としては支給しない予定（上記奨学金月額に含む） ※予算の編成過程において詳細決定予定。	募集締切	前年度10月頃
人数	未定	問い合わせ先	国際教育課